

令和2年度 Sport in Life 推進プロジェクト  
(ターゲット横断的なスポーツ実施者の増加方策事業)

親子でたくさん遊んで  
未来を創る元気な子どもを育む  
蕨いきいきキッズプロジェクト

事業報告書

令和3年2月

株式会社ルネサンス

本報告書は、スポーツ庁の **Sport in Life** 推進プロジェクト委託事業として、株式会社ルネサンスが実施した令和2年度 ターゲット横断的なスポーツ実施者の増加方策事業 の成果を取りまとめたものです。従って、本報告書の複製、転載、引用等にはスポーツ庁の承認手続きが必要です。

令和2年度 Sport in Life 推進プロジェクト  
(ターゲット横断的なスポーツ実施者の増加方策事業)  
「蕨いきいきキッズプロジェクト」  
事業報告書

目次

本事業の目的 .....	1
1. 本事業の実施概要 .....	2
(1) 本事業のターゲット .....	2
(2) ターゲットのスポーツ実施の阻害要因、促進要因（事業実施前の仮説） .....	4
(3) 本事業で期待される効果 .....	8
2. 本事業の実施内容 .....	10
(1) 事業の実施概要 .....	10
(2) 事業の実施結果 .....	12
3. 本事業の実施体制 .....	37
(1) 本事業の実施体制 .....	37
(2) 本事業の実施スキーム .....	37
4. 事業の実施効果（スポーツ実施頻度、実施意欲の改善効果） .....	38
(1) 効果検証方法 .....	38
(2) 効果検証の結果 .....	40
5. スポーツ実施改善の要因の分析（阻害要因や促進要因の仮説検証） .....	46
6. 本事業から得られた波及効果 .....	49
7. 今後の事業展開予定 .....	50
(1) 事業継続や横展開に向けたポイント、課題 .....	50
(2) 次年度以降の事業継続、横展開の計画 .....	50
(3) 今後の事業展開に向けて期待される sport in Life プロジェクトにおける取組 .....	51
8. 終わりに .....	52
参考資料 アンケート調査票・集計結果 .....	56

## 本事業の目的

本事業は、生涯にわたる運動・スポーツの習慣化づくりの最初の入口となる幼児期の子ども運動についての大人の理解が不足していることや、子どもが楽しいと感じて思い切り運動をする機会が減少し「体や心をコントロールする力」が低下していることが主体的な運動活動につながっていないと考え、「未就学児（0～5歳）とその保護者」を対象に、子どもの心身の発達に重要な「運動遊び」をテーマに事業を行い、幼児期の子どもが運動を好きになることによるスポーツ・運動実施時間の増加、子育て世代が子どもと触れ合う運動により運動実施率の向上を図った。蕨市児童福祉課、蕨市市民活動推進室、秘書広報課との連携により①子どもから子育て世代（②女性・③ビジネスパーソン）、への直接のアプローチや市全体を巻き込んだモデルを創出することを目的に実施した。

## 1. 本事業の実施概要

### (1) 本事業のターゲット

・本事業では、「①子ども（主に0～5歳の未就学児）」、およびその保護者となる「子育て世代（②女性・③ビジネスパーソン）」をターゲットとする。

・蕨市を実証フィールドとし、蕨市内の保育園に通う0～5歳の未就学児を主なターゲットとする。同時にその親が参加できる親子参加型のプログラムを提供し、子育て世代（②女性・③ビジネスパーソン）もターゲットとして実施する。

#### ◆ ターゲットのスポーツ実施を促すためのポイント

ターゲットのスポーツ実施を促すための主な訴求ポイントとして以下4点を示す。

#### 【訴求ポイント1：子どもにとって楽しい運動経験の機会を創出】

子どもは幼児期から運動に対して苦手意識を持つことが実態調査で示されている。この意識は生涯にわたる運動・スポーツ実施率の低下につながっている。

対象を①子ども未就学児（0～5歳）とその保護者となる子育て世代（②女性・③ビジネスパーソン）に設定。

幼児期の子どもには、運動の得意・不得意に関わらず、「運動が楽しい」という体験を通して「運動を好き」になってもらうことが大切であることから、**競争や達成を目的とした運動ではなく、「遊び」として運動に取り組める機会を創出する。**

#### 【訴求ポイント2：大人のリテラシーを高め子どもの運動環境を向上】

大人が子どもの運動に対して、早い習熟を期待した指導や子どもが練習をすることを推奨してしまうことが、かえって、運動・スポーツを嫌い、苦手といった意識につながることもある。また、遊び方が分からないことで子どもの遊びが道具やタブレットなどに頼ったものになってしまい、体を動かす機会がより減少している。

子ども未就学児（0-5歳）にとっての運動経験は、運動にどう向き合うかを決める大切な一歩であり、その経験は「楽しく」「自らの意思で取り組む」環境の中で行われる必要がある。そこで本事業では、子育て世代保護者（女性・ビジネスパーソン）および子育てに関わる関係者が、子どもの運動遊びに対するリテラシーを高めるための学びの場を設け、大人が子どもの運動遊びについて目線の合った関わりができるようになることで、**大人のリテラシーを高め、子どもが楽しく継続的に運動・スポーツに取り組んでいける環境づくりを市全域で行う。**

**【訴求ポイント3：親子での運動遊びを通した子育て世代の運動習慣化】**

子育て世代（女性・ビジネスパーソン）の運動未実施の理由のひとつとして、育児が忙しく時間が無いことがある。



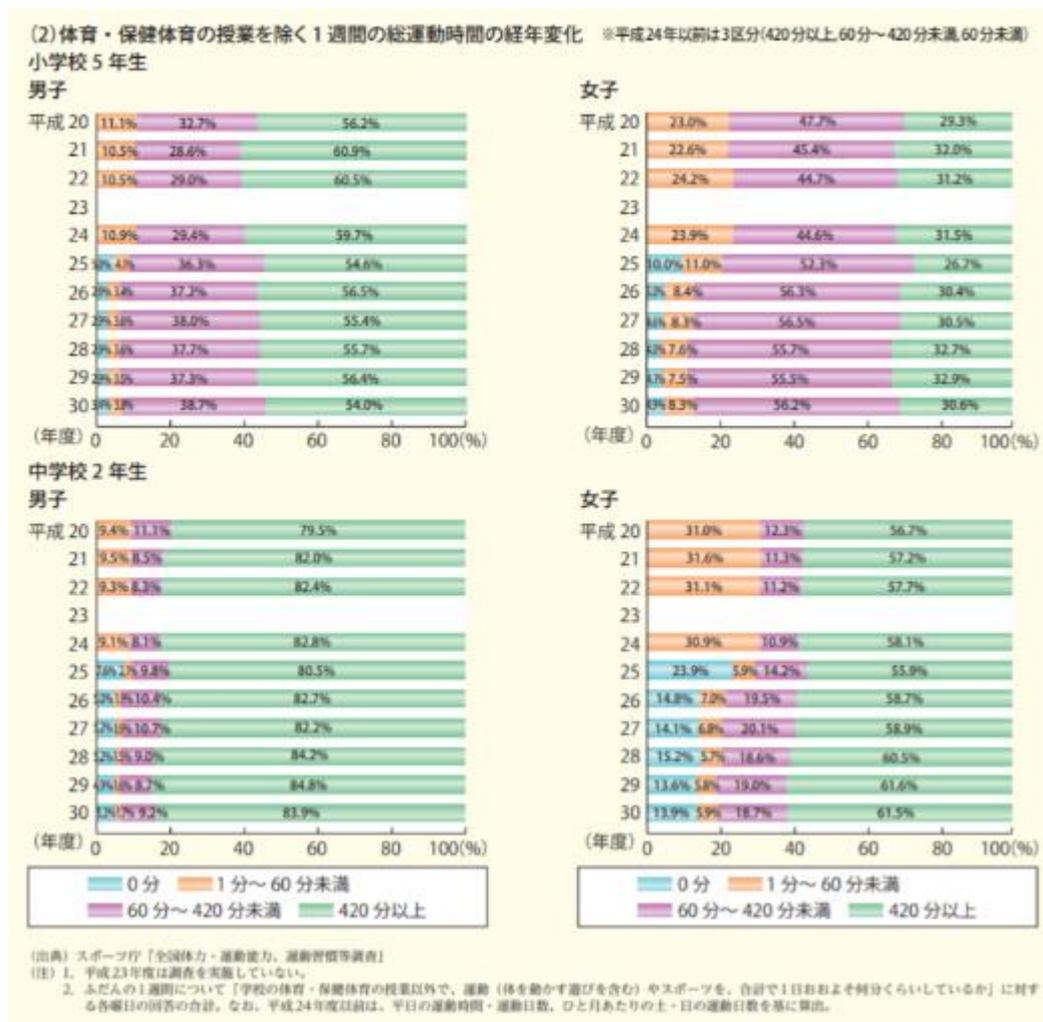
運動遊びを行うことは、子どもの心身の発育・発達に重要であるということの理解を促し、親子での運動遊びに対する意識を高める。また、子どもとの運動遊びを通じて、親世代の運動機会の確保にもつながることを広く伝え、自宅や短時間で取り組める運動遊びの情報を提供することで子育て世代の運動機会の創出を図り、「子どもとの運動遊びの楽しさ」「適度に体を動かすことによる爽快感」「多くの笑顔や成長に会う幸福感」から運動への興味関心に繋げ、継続に導く。特にコロナ感染症の影響で、日常の活動制限が強いられ、親子とも身体を動かす時間が極端に減少しており、二次的健康課題を生む要因になっていることから、これらも踏まえた意識啓発を行うことが可能である。

## (2) ターゲットのスポーツ実施の阻害要因、促進要因（事業実施前の仮説）

### 【0~5歳の児童のスポーツ実施を妨げている要因】

本事業で主なターゲットとしている0~5歳の子どものスポーツ実施率の全国調査はされていないが、小学校5年生、中学校2年生の「体育・保健体育の授業を除く1週間の総運動時間は、下図表の通り、ここ数年低下傾向にある。

図表1 体育・保健体育の授業を除く1週間の総運動時間の経年変化

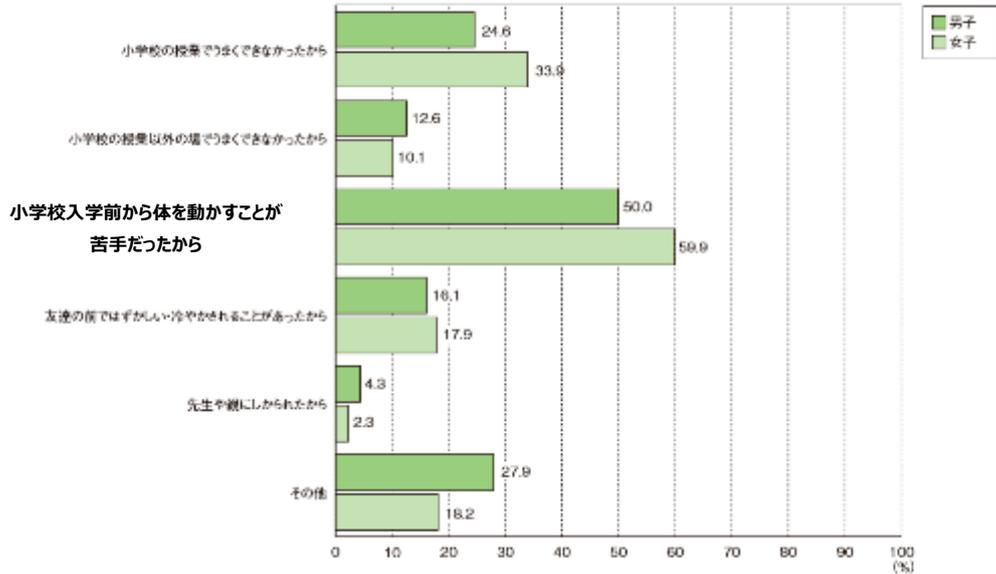


(出所) 内閣府 (令和元年)「子供・若者白書」

また、スポーツ庁 運動習慣調査によると、スポーツ実施率の低下の要因として、「小学校入学前の運動に対する苦手意識」が1番の理由であげられており、就学前の運動環境(運動遊び実施時間の減少)が原因と指摘されている。

図表 1 運動が嫌いな児童のきっかけ

【質問1-2】 質問1で「ややきらい・きらい」と答えた人は、何がきっかけできらいになりましたか。あてはまるものをすべて選んでください。



(出所) 文部科学省 (小学校第 5 学年) 「平成 26 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果報告書」

図表 3 小学校入学前の外遊び実施状況別現在の運動・スポーツ実施状況(10 歳)



(出所) 文部科学省 (小学校第 5 学年) 「平成 28 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果報告書」

本事業の実証フィールドしている蕨市においては、一昨年度より公立保育園でプレイヤーによる運動遊び(3~5歳児対象)を行っており、0~5歳児に対象を拡大し、継

続して行うことで、幼児の運動遊び環境の基礎構築に取り組んでいる。

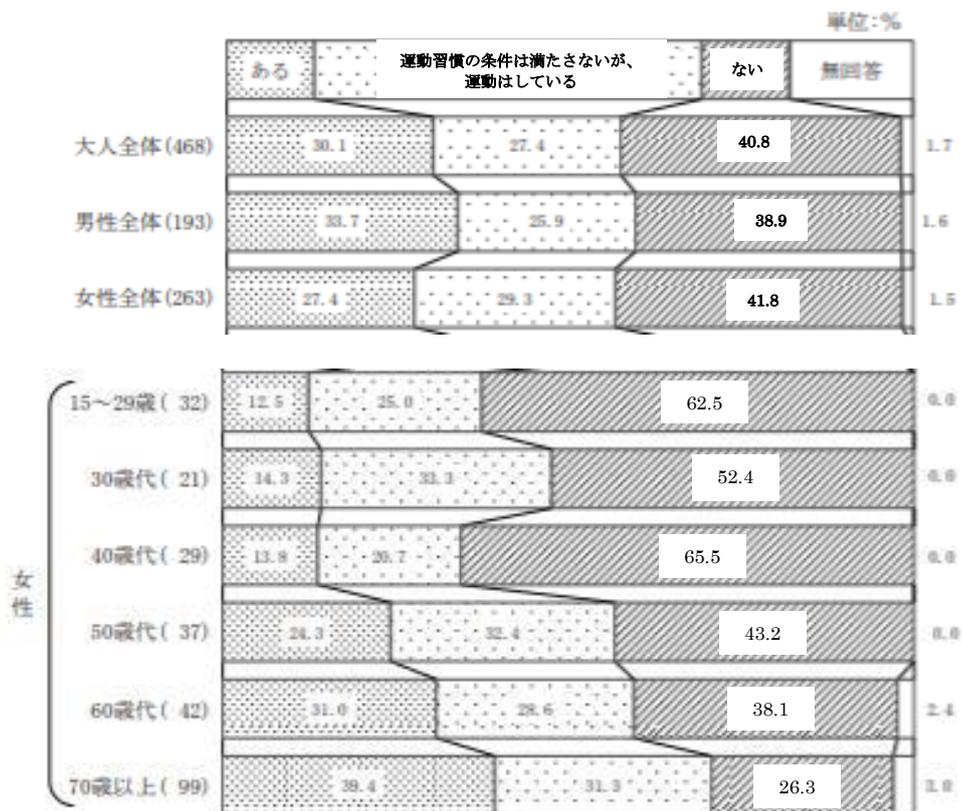
本事業のターゲットとしている0～5歳の未就学児のスポーツ実施の阻害要因（仮説）は、事前の蕨市との情報交換、前年度の保育士研修により下記の通り。

- ✓ 月齢に合った運動がわからないことにより子どもの運動環境が確保されていない
- ✓ 運動遊びの際の子どもとの関わり方がわからないことにより子どもの運動環境が確保されていない
- ✓ コロナウイルス感染症の拡大により、子どもの運動機会が減少

**【子育て中の30代～40代の女性のスポーツ実施を妨げている要因】**

蕨市の子育て中の30代～40代の女性の運動実施状況は、15歳以上の女性全体の運動未実施率が41.8%に対して、30代52.4%、40代65.5%と高くなっている。

**図表4 運動習慣の有無**



(出所) 蕨市 (2018年) 「第2次『わらび健康アップ計画』策定に関するアンケート調査」

運動未実施の理由は、同上記アンケートによると「時間に余裕がないから」が40%を超えて1番多く、次いで「身体を動かすことが好きではないから」が25%を超えて2番

目となっている。

30～40代女性のスポーツ実施の阻害要因（仮説）は下記の通り。

- ✓ 子育てが忙しく運動をする余裕がない
- ✓ 体を動かす爽快感や楽しさの経験がない

### (3) 本事業で期待される効果

#### 【0～5歳の未就学児への期待される効果】

本事業では、0～5歳の未就学児のスポーツ実施意欲の向上を図るとともに、プログラム終了から2か月経過した後のスポーツの実施状況を調査し、習慣化に向けた検証を行う。

#### ●阻害要因

- コロナによる運動機会の減少。
- 大人の子どもの運動に対するリテラシーの低さ。
- 未就学児の体育的運動による運動苦手意識。

#### ●取り組み内容

- リアルやライブで運動遊びに参加できる機会の提供。
- 子どもに関わる大人への、運動遊びに対する理解を高める情報提供。
- 楽しいと感じ主体的に取り組む姿勢を引き出す、運動遊び機会の提供。

#### ●期待される効果

- ①運動遊びの実施意欲の向上
  - ・体を動かすことの楽しさを知る  
(運動遊びが楽しいと感じた→8割以上)
- ②運動実施の習慣化
  - ・運動環境(大人の理解)の改善により運動機会の創出する  
(プログラム終了の2か月後に、動画配信活用を継続してスポーツを実施している未就学児の割合が60%以上。)

#### 【子育て中の30代～40代の女性への期待される効果】

子育て中の30～40代の女性のスポーツ実施意欲の向上を図るとともに、プログラム終了から2か月経過した後のスポーツの実施状況を調査し、習慣化に向けた検証を行う。

#### ●阻害要因

- 時間に余裕がないから
- 身体を動かすことが好きではないから

#### ●取り組み内容

- 親子で遊びながら楽しく体を動かす経験を提供し、子育てと親自身の運動を同時に行えることの理解につなげる
- 運動遊びが子どもの成長や自身の爽快感につながることで、運動に対するイメージを改善する

#### ●期待される効果

- ①運動実施の習慣化
  - ・運動を楽しむことにより爽快感や自らの体力を知り運動の必要性に気付く

(Q 子育て世代の週1回の運動習慣化 現状→+10%)

②子どもにとっての運動の必要性の理解

・子どもとの運動遊びの「方法」「手軽さ」「遊びと子どもの育ち」を学ぶ

(Q 運動遊びの必要性を理解できたか→8割以上)

図表 5 阻害要因と取組み

運動・スポーツ実施の阻害要因 /促進要因	実施内容	期待される効果
コロナによる運動機会の減少	①リアルやライブ（オンライン） で体を楽しく動かす運動遊びの提供 ②オンラインで自宅で親子でできる 運動遊び動画を提供	○運動（遊び）実施意欲の改善 子どもと一緒に運動遊びをすることで、 親子が楽しいと感じたり、子どもが 運動遊びに取り組む姿を嬉し いと感じ、親子の運動遊び意欲の改善を図る。  ○運動実施の習慣化 ・子どもにとっての運動の必要性 周知により「親が子どもと一緒に 運動遊びをする機会を増やすこと で運動実施時間が増加」「子ども の運動を指導ではなく楽しい経験 の機会に改善」を図る。 ・子どもの運動遊びをする環境の 改善により、運動遊び実施時間の 増加を図る。
未就学児の体育的運動による 運動苦手意識		
大人の「子どもの運動に対す る」リテラシーの低さ		
	③子どもに関わる大人に対して運 動遊びや、子どもの運動遊びへの 関わり方を動画で提供 ④オンラインでワークショップで、 健やかに子どもを育てる（運動遊 び）環境について検討を実施	

## 2. 本事業の実施内容

### (1) 事業の実施概要

#### ○主なターゲット

- ・ 蕨市在住の①子ども（0～5歳の未就学児）、およびその保護者となる子育て世代（②女性・③ビジネスパーソン）。
- ・ 上記ターゲットのボリューム：最大未就学児約3,300人、保護者：約4,500人（②女性・③ビジネスパーソン）。

#### ○本プロジェクトで取り組む「ターゲットのスポーツ実施を促すためのポイント」

- 1：子どもにとって楽しい運動経験の機会を創出
- 2：子どもに関わる大人のリテラシーを高め子どもの運動環境を向上
- 3：親子での運動遊びを通じた子育て世代の運動習慣化
- 4：親子での運動遊びにより運動が苦手な親の運動に対する気持ちのハードルを下げる

#### ○本プロジェクトの実施内容・狙い・特徴

##### 事業①

内容：プレイリーダーが保育園3～5歳児に対して運動遊びを提供するモデル事業を実施

目的：子どもが運動遊びを楽しみ、意欲の改善を図る

特徴：プレイリーダーが子どもを楽しく主体的に運動遊びに取り組めるように導く

##### 事業②

内容：公立保育園の0～2歳児親子への運動遊びを提供するモデル事業の実施

目的：親子で運動遊びの楽しさを感じ、手軽に取り組めることを知る機会にすることで、運動意欲の改善、運動実施時間の増加を図る

同年代の子どもをもつ親同士をつなげ、子ども同士の触れ合い機会を創出する

特徴：親子で楽しく体を動かすことや、子どもがのめりこんで運動遊びに取り組むように関わるポイントを子どもと一緒に体を動かしながら経験する

##### 事業③

内容：地域の運動施設で、子育て情報と運動遊びを提供する、運動を通じた子育て拠点の構築

(1)親子運動遊びイベントを対面（少人数）＋オンライン配信で実施

(2)市民団体とルネサンスが協力して、子育て情報の紹介と運動遊びをするイベントを開催

目的：コロナ禍で休日の運動機会が減少している子どもの運動機会の創出

特徴：親子ごとに空間を使うことで、ふれあったり、思い切り体を動かしたりして

も密をさけることができ、イベントのオンライン配信により、自宅でも気軽に参加できる。

#### 事業④

内容：子育て勉強会の開催

(1)市内全保育園保育士を対象に「子どもとの運動遊び」研修を動画で実施

(2)オンライン子ども子育て勉強会を開催

①専門家による子どもにとっての運動遊びについてのオンライン講座を配信

②子育てしやすいまちについて対話をするワークショップをオンラインで開催

目的：市内全保育士が未就学児の発育発達や生活環境の変化、運動遊びの仕方を学び、住民や行政職員と子育てについて対話型のワークショップをすることで、子育て環境について様々な立場の人の声をお互いに聞き、知る機会になり、それぞれの立場で改につなげる。

保護者を含めた子どもと関わる大人の子どもの発育発達、運動遊びからの学びについて学ぶ機会にし、子どもの運動遊びの環境改善を図る。

特徴： コロナ禍デモ参加ができる、オンラインや VTR で実施をした。

#### 事業⑤

内容：市のホームページを活用した運動遊びに関する情報発信

(1)運動遊び動画の定期配信

(2)市民団体が参加して作成した運動遊び動画を配信

目的：運動遊びを週 1 回行うことで習慣化を図り、もっと遊びを知りたい方が様々な自宅でする遊びを知る機会にする

市民団体に作成してもらったことで、本事業への関心範囲の拡大を図り、事業後も連携により、運動機会の定期的な提供を図る

特徴： YouTube の配信なので自宅でも気軽にできる

市民団体が自分事として動画を撮影

#### 事業⑥

内容： SNS による市民の運動遊び実践の配信による運動遊び訴求

イベントや運動遊び動画を見て、「やってみた動画」を Instagram にハッシュタグをつけて投稿してもらう

目的：市民参加を訴求し、運動遊びの拡散を図る

特徴：子育て世代が関心の高い Instagram を選択、気軽に参加できるようにした。

## (2) 事業の実施結果

### 事業①保育園 3～5 歳の園児に対し運動遊びを提供

保育園の園庭またはスポーツクラブルネサンス 24 のテニスコートでプレイリーダーが特別な準備のいない、「体を使った遊び」や「その場にある道具を使った遊び」を提供。日常の保育につながるように担当保育士も参加して実施した。

実施した内容および特徴は下記の通り。

図表 6 実施内容および特徴

実施場所	実施概要および内容	特徴
園庭	<p>(2)10月28日 たんぼぼ保育園</p> <p>●実施内容</p> <p>①色・物タッチおいかけっこ</p> <p>②忍者手裏剣</p> <p>③だるまさんがころんだ</p> <p>④じゃんけん電車</p> <p>●参加人数（園児全員参加）</p> <p>3歳児クラス：18人</p> <p>4歳児クラス：25人</p> <p>5歳児クラス：30人</p> <p>(4)11月4日 さつき保育園</p> <p>●実施内容</p> <p>①色・物・人タッチおいかけっこ</p> <p>②ものまね大会</p> <p>③忍者手裏剣</p> <p>④じゃんけん電車</p> <p>⑤侍切り</p> <p>⑥ゴム紐大移動</p> <p>●参加人数（園児全員参加）</p> <p>3歳児クラス：20人</p> <p>4歳児～5歳児クラス：44人</p> <p>(5)11月6日 みどり保育園</p>	<p>・園庭で十分に体を動かして外遊びを楽しむ機会を創出。</p> <p>・日常、子どもだけでも遊びができるように対話をしながら遊びを展開。</p> <p>・道具を使わずにできる遊びを中心にするこ とで、日常保育に活かせるように提供。</p>

	<p>●実施内容</p> <p>①色・物タッチおいかけっこ ②忍者手裏剣 ③ねことねずみ ④じゃんけん電車 ⑤ボール遊び ⑥だるまさんが転んだ</p> <p>●参加人数（園児全員参加）</p> <p>3歳児クラス：18人 4歳児クラス：18人 5歳児クラス：15人</p>	
<p>テニスコート （園庭より広いため、園児が徒歩移動可能な園はルネサンスに移動して実施）</p>	<p>(1)10月26日 くるみ保育園</p> <p>●実施内容</p> <p>①色・物タッチおいかけっこ ②ねことねずみ ③ボール遊び</p> <p>●参加人数（園児全員参加）</p> <p>3歳児クラス：19人 4歳児クラス：23人 5歳児クラス：25人</p> <p>(3)11月2日 ニチイキッズ保育園</p> <p>●実施内容</p> <p>①色・物タッチおいかけっこ ②ねことねずみ ③ボール遊び</p> <p>●参加人数（園児全員参加）</p> <p>4歳児クラス：10人 5歳児クラス：12人</p> <p>(6)11月9日 さくら保育園</p> <p>●実施内容</p>	<p>・室内でも喚起や手指の消毒などコロナ対策を講じ、広く走り回る遊びを提供。</p> <p>・日常、子どもだけでも遊びができるように対話をしながら遊びを展開</p> <p>・テニスコートならではの、ボールを使った遊びを取り入れ、体を大きく使って投げることや、狙って投げることなど遊びにバリエーションを持たせることで主体的な取り組みを引き出した。</p>

	<p>①色・人タッチおいかけっこ  ②新聞遊び(走る・丸めて上に投げてキャッチ)  ③ボールで雪合戦  ④新聞遊び(・走る⇒リレー(まっすぐ))  ⑤スポンジボールでの的当て(ネットから)</p> <p>●参加人数(園児全員参加)</p> <p>3歳児クラス:19名  4歳児クラス:21名  5歳児クラス:30名</p> <p>(7)11月16日 さくらさくみらい保育園</p> <p>●実施内容</p> <p>①色・人タッチ追いかけっこ  ②忍者手裏剣  ③ものまね大会(生き物)  ④ボール投げ(かごに入れる)  ⑤じゃんけん電車  ⑥ボール投げ(カラーコーンに当てる)</p> <p>●参加人数(園児全員参加)</p> <p>3歳児クラス:9名  4歳児クラス:11名  5歳児クラス:11名</p>	
--	--	--

参加予定数および参加実績数は、全園児

事業②保育園0～2歳の園児とその保護者に対し親子運動遊びを提供

保育園の遊戯室でプレイリーダーが特別な道具のいない、自宅でもできる「体を使った遊び」や「身近な道具を使った遊び」を提供。日常の保育につながるように担当保育士も参加して実施した。

実施した内容および特徴は下記の通り。

図表 7 実施内容および特徴

対象	内容	特徴
0 歳児	抱っこ遊び 歌遊び タオルや新聞紙を使った遊び	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親が子どもを抱っこしたり、親の声を聴かせたりしながらふれあって遊ぶことでいつもと違う環境に慣れ安心できるようにする。</li> <li>・身近にあり、安全かつ壊れても修繕できる遊び道具で遊ぶ。</li> <li>・親の運動につなげる。</li> </ul>
1 歳児	歌遊び 触れ合い遊び タオルや新聞紙を使った遊び	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌遊びをしながら、遊びの中で体に触れ、言葉を覚えていくことや、遊びの中で学ぶことを保護者に伝えながら、親子の遊びをすることの大切さの理解を図り、機会創出を図った。</li> <li>・子どもは 1 回教えて出来るようになるのではなく、自ら工夫してやり方を習得することを伝え、繰り返し取組み、のめり込む姿を受け止める大人の姿勢の大切さを伝え、子どもの遊びが途切れの防止を図った。</li> <li>・身近な道具で遊ぶことで、子どもも大人も工夫し、発育発達の状況に合わせて遊ぶことが楽しめることを伝え、遊びの日常化を図った。</li> </ul>
2 歳児	<ul style="list-style-type: none"> <li>・触れ合い遊び</li> <li>・ゴム紐を使った遊び</li> <li>・タオルや新聞紙を使った遊び</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親と一緒に遊ぶことで、安心し、様々なチャレンジができることや、大きなけがをする危険の回避につなげることができることを伝え、親が子どもと一緒に体を動かして遊ぶ機会を創出した。</li> <li>・子どもが夢中になって遊んでいる姿を見守りながら、子どもは 1 回教えて出来るようになるのではなく、自ら工夫してやり方を習得</li> </ul>

		<p>することを伝え、繰り返し取組み、のめり込む姿を受け止める大人の姿勢の大切さを伝え、子どもの遊びが途切れの防止を図った。</p> <p>・身近な道具で遊ぶことで、子どもも大人も工夫し、発育発達の状況に合わせて遊ぶことが楽しめることを伝え、遊びの日常化を図った。</p>
--	--	--

図表 8 実施内容詳細

実施概要	実施内容
<p>(1)10月24日 くるみ保育園</p> <p>●参加人数</p> <p>0～1歳児クラス：4組</p> <p>2歳児クラス：6組</p>	<p>①手遊び</p> <p>②一緒にジャンプ</p> <p>③トンネル遊び</p> <p>④タオル電車、タオルそり</p> <p>⑤新聞紙やぶり</p> <p>⑥新聞紙ボール遊び</p>
<p>(2)10月31日 さつき保育園</p> <p>●参加人数</p> <p>0歳児クラス：4組</p> <p>1歳児クラス：1組</p> <p>2歳児クラス：5組</p>	<p>①手遊び</p> <p>②一緒にジャンプ</p> <p>③トンネル遊び</p> <p>④タオル電車、タオルそり</p> <p>⑤新聞紙やぶり</p> <p>⑥新聞紙ボール遊び</p>
<p>(3)11月7日 たんぽぽ保育園</p> <p>●参加人数</p> <p>0～1歳児クラス：3組</p> <p>2歳児クラス：4組</p>	<p>①手遊び</p> <p>②一緒にジャンプ</p> <p>③トンネル遊び</p> <p>④タオル電車、タオルそり</p> <p>⑤新聞紙やぶり</p> <p>⑥新聞紙ボール遊び</p>
<p>(4)11月14日 さくら保育園</p> <p>●参加人数</p> <p>0歳児クラス：3組</p> <p>1歳児クラス：8組</p> <p>2歳児クラス：9組</p>	<p>①手遊び</p> <p>②一緒にジャンプ（ゴム紐蜘蛛の巣）</p> <p>③トンネル遊び</p> <p>④タオル電車、タオルそり</p> <p>⑤新聞紙やぶり</p> <p>⑥新聞紙ボール遊び</p>
<p>(5)11月21日 みどり保育園</p>	<p>①手遊び</p>

<p>●参加人数</p> <p>0～1 歳児クラス：3 組</p> <p>2 歳児クラス：3 組</p>	<p>②一緒にジャンプ</p> <p>③トンネル遊び</p> <p>④タオル電車、タオルそり</p> <p>⑤新聞紙やぶり</p> <p>⑥新聞紙ボール遊び</p>
--	--

参加予定数 50 組 参加実績数 53 組

どの月齢でも、親が子どもの安全地帯になることや、子どもの発育発達の状況に合わせて、子どもの「やりたい」を見つけて、子どもの気持ちに寄り添いながら遊ぶことが大切であること、運動不足で亡くなる方がいることを伝えながら行うことで、親が子どもの運動遊びにどう関わるとよいかの理解、子どもと共に親が体を動かすことを促した。

事業の実施効果については、教室終了 2～3 か月後にアンケート調査を実施した。結果は下図表の通り。

事業③地域の運動施設で、子育て情報と運動遊びを提供する、運動を通した子育て拠点の構築

スポーツクラブルネサンス蔵 24 の施設を活用し、子育て親子の集いの機会をつくり、子育ての情報提供と運動遊びを提供することで、同世代の子どもをもつ親子のコミュニティと運動遊びによる親子の運動習慣化を図った。

**(1) 子育て情報コミュニティ&運動遊び (会場：スポーツクラブルネサンス蔵 24)**

**図表 9 イベント実施概要**

開催概要	実施内容	参加状況 (定員 10 組)	特徴
10 月 25 日 11 時 45 分～ 12 時 15 分	運営：NPO 法人ふうせん ①子育て情報はどこから 手に入る？ ②運動って大事 ベビー のスイミングはおすすめ ① 子育て相談 ② 手あそび	申込み数 10 組 参加数 8 組	子育て支援の情報の提供 に合わせて、親子共に運動 することの大切さと手軽 にできる運動遊びを運動 無関心層に提供。
11 月 15 日 11 時 45 分～ 12 時 15 分	運営：D O L C E ～ B a b y ～ ② 音に合わせて体を動 かす	申込み数 10 組 参加数 8 組	・音に合わせて体を動かす ことの楽しさを親子で体 験。 ・日常に取り入れられるよ

	②音に合わせて歩く ③ 音を出して遊ぶ		うな手軽な自然と結び付けた遊びを提供。
12月13日 11時45分～ 12時15分	運営：どろんこの王様 ①子育て相談 ②ジャンプ遊び	申込み数6組 参加数1組	・近隣幼稚園でコロナ陽性者が出たこともあり、参加が1組だったため、実施予定内容をメールで配信。 ・自然の中で子どもが子どもらしく遊ぶことができる、プレイパークの情報を提供。
1月10日 11時45分～ 12時15分	運営：NPO 法人ほっこり 一の 親子ヨガ遊び	申込み数6組 参加数1組	・近隣幼稚園でコロナ陽性者が出たこともあり、参加が1組だったため、実施内容を動画撮影し、メールで配信。 ・親の心と身体のストレス解消につなげるヨガと子どもの遊びをつなげて実施。

## (2) リアル&LIVE 運動遊びイベント（会場：スポーツクラブルネサンス蔵 24）

コロナ禍でも、自宅でできる遊びを対面（少人数）＋オンライン配信の親子運動遊びイベントで実施。室内の実施については、動くスペースを区切り、家族のみのパーソナルスペースをつくることでソーシャルディスタンスを保って行った。

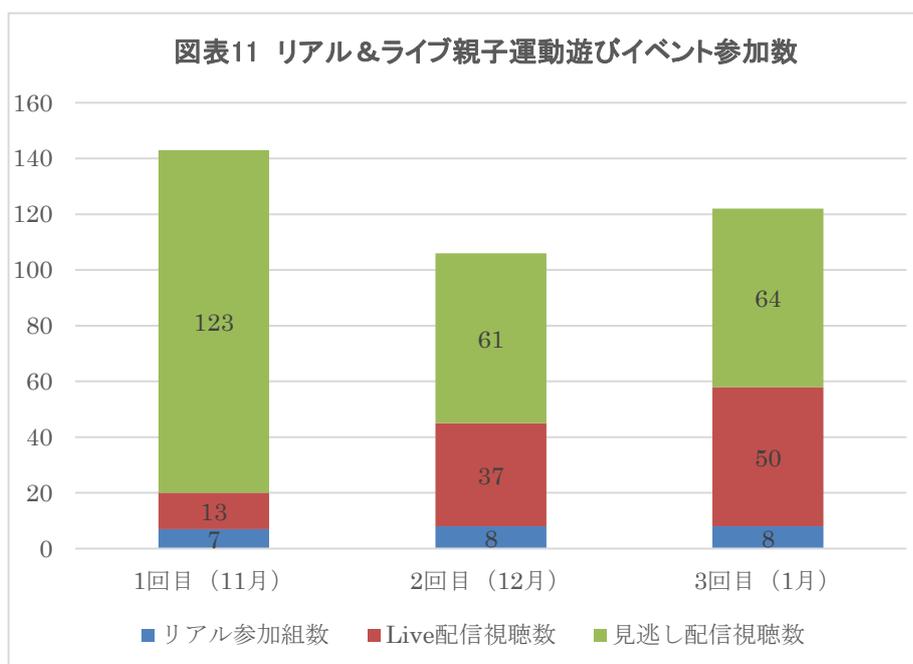
子どもと触れ合い、子どもの気持ちに寄り添って行うことの大切さを伝え、必然的に親と一緒に遊ぶ遊びを提供。

リアルの場に来れなくても、自宅で LIVE 配信や見逃し配信で参加を可能にすることで、より多くの親子に参加できる環境を提供する。

図表 10 イベント構成

内容	目的
手遊びや触れ合い遊び	場に慣れるために、親子で触れ合いながらリズムよく体を動かす
体を操作する遊び	簡単な動作で、体を操作して遊ぶことで自分の体の動かし方や動ける範囲を学ぶ
ルールのある遊び	たくさん体を動かして発散した後に、遊び方を理解

	してルールを親子で相談しながら遊ぶことで、チャレンジにつなげる
道具を使った遊びの紹介	自宅にあるものを使って、遊び方の決まりのない遊びを紹介することで、日常の遊びにつなげる



**図表 12 イベント実施概要**

実施概要	実施内容	参加数 (定員 10 組)	特徴
11 月 23 日 テニスコート	①手遊び ②からだでタッチ ③トンネル遊び ④数字でタッチ ⑤ひも付き風船バレー ⑥ボール遊び  	申込み数 10 組 参加数 7 組  オンライン視聴 数 13 件 編集後動画の視 聴数 123 回	・体のバランスを とる遊びを中心に 内容を構成。
12 月 12 日	①忍者修行	申込み数 10 組	・跳ぶ、跳ねる動き

スタジオ	②3でとまる ③親子でジャンプ ④動物ものまね連想ゲーム	参加数 8組  オンライン視聴数 37件 編集後動画の視聴数 61回	を中心に、ごっこ遊びの要素を取り入れ、想像力を引き出す遊びを提供
1月11日 テニスコート	①むすんでひらいて ②山あり谷あり(からだ遊び) ③からだでタッチ ④手押し相撲 ⑤追いかっこ  	申込み数9組 参加数 8組  オンライン視聴数 50件 編集後動画の視聴数 64回	移動する動きや力比べの動きを中心に遊びを提供。

**事業④市内全保育園保育士や住民を対象に子どもの運動遊びについての勉強会を開催**

大人のリテラシーを高め幼児期の子どもの運動環境を向上することで、運動の習慣化を図る。

(1)市内保育士への運動遊びについての研修動画の配布

蕨市の全保育士が子どもの運動遊びとの関わり方を学ぶことで、全ての未就学児の運動経験が楽しいものとなることを目指す。

配布日：10月18日

講師：株式会社ルネサンス 篠田裕子氏

動画内容：①運動遊びの必要性、②子どもの運動遊びの関わり方、③身近な物を活用した運動遊びの紹介

**図表 13 研修動画キャプチャー画像**



対象：蕨市内保育園

実施園数：21園（認可12園、小規模9園）実施率84%

実施方法：全体研修4園、グループ研修12園、個人研修9園（複数回答あり）

受講人数：218名

図表14 保育園勉強会実施状況

保育園名	種別	実施方法	実施日または期間	受講人数
さくら保育園	公立認可保育園	グループ研修	令和2年11月18日（木）、11月24（火）	22名
みどり保育園	公立認可保育園	個人研修 グループ研修	令和3年1月12日（火）～1月20日（水）	20名
たんぽぽ保育園	公立認可保育園	グループ研修	令和3年1月12日（火）～1月14日（木）	20名
くるみ保育園	公立認可保育園	グループ研修	令和3年1月12日（火）～1月19日（火）	22名
さつき保育園	公立認可保育園	グループ研修	令和3年1月8日（金）、1月12日（火）	17名
けやき保育園	私立認可保育園	グループ研修	令和3年1月4日（月）、1月12日（火）、 1月18日（火）	15名
けやきの森保育園緑園	私立認可保育園	個人研修	令和3年1月15日（金）	1名
ニチキッズわらび保育園	私立認可保育園	グループ研修 個人研修	令和2年12月～令和3年1月	0名
蕨すこやか保育園	私立認可保育園	全体研修	令和2年11月7日（土）	10名
さくらさくみらい緑	私立認可保育園	全体研修	令和2年10月27日（火）	15名
藤ゆたか保育園	私立認可保育園	個人研修	令和2年11月～12月	18名
藤緑ゆたか保育園	私立認可保育園	個人研修	令和2年11月～12月	2名
ひまわり保育園	小規模保育園	グループ研修	令和2年1月4日（月）	8名
保育所ちびっこランド イオンタウンわらび塚越園	小規模保育園	グループ研修	令和3年1月18日（月）、19日（火）	5名
あいの木保育園	小規模保育園	個人研修	令和2年12月21日（月）～23日（土）	8名
保育ルームのぞみ	小規模保育園	グループ研修 個人研修	令和3年1月18日（月）、19日（火）	7名
つかさ保育園蕨市わらび園	小規模保育園	グループ研修	令和2年10月28日（木）	4名
サンロード保育園	小規模保育園	全体研修 個人研修	令和3年1月12日（火） 令和2年12月5日（土）	7名 1
つかさ保育園蕨市わらび第二園	小規模保育園	個人研修	令和2年10月31日（土）～12月23日（水）	6名
キッズフィールドわらび北町園	小規模保育園	全体研修	令和2年12月3日（木）、10日（木）、17日（木）	5名
保育ルームFelice緑II園	小規模保育園	グループ研修	令和3年1月18日（月）	3名

## (2)住民向け子育てオンライン勉強会の実施

①蕨いきいきキッズプロジェクト専用 YouTube チャンネルで子育ての専門家 汐見稔幸氏、発育発達学の専門家 中村和彦氏による対談、運動遊びの専門家 篠田裕子氏の実践動画を配信。子どもの発育発達における運動の考え方や子どもが運動遊びにより学ぶことなど、子どもの実態を例に挙げて住民がわかりやすいように伝える。

提供コンテンツの概要は下図表の通り。

図表15 オンライン勉強会動画の概要

タイトル ／キャプチャー	概要	視聴数	配信日
汐見先生と中村先生 による対談	今の子どもの活動量の減少の状況や運動の苦手意識をテーマに、運動遊びの必要性について対談形式で	117	12月1日

	<p>情報配信。</p>		
<p>汐見先生と中村先生による対談</p> 	<p>ユニセフの調査報告レポート「16 先進国の子どもの幸福度ランキング」からみえることをテーマに、子育てにつながる情報を対談形式で配信</p>	<p>29</p>	<p>12月1日</p>
<p>汐見先生と中村先生による対談</p> 	<p>子どもに関わる皆さんに、子どもを健やかに育むためのポイントを、先生方からのメッセージ。</p>	<p>45</p>	<p>12月1日</p>
<p>子どもとの遊び方</p> 	<p>運動遊びの専門家による子どもとの遊び方を配信。プレイリーダーからお子様と一緒に遊ぶ時のポイントや自宅でできる遊びを紹介。</p>	<p>83</p>	<p>12月8日</p>

## (2) 保育関係者と住民、みんなで作る子育てしやすいまちワークショップの開催

・子育てしやすい街をビジョンに、オンラインや対面を組み合わせ、カードを使用したワークショップを実施。これにより、地域の現状を可視化しながら、子どもたちが元気に育つための地域環境づくりをみんなで考えることで、地域全体で継続的な取組みにつなげていくための土壌を形成する。

<p>名称</p>	<p>対話で考える“子育てしやすいまち in 蕨”ワークショップ</p>
<p>日時</p>	<p>2020年12月17日(木) 13:30-15:30</p>
<p>場所</p>	<p>オンライン形式で実施</p>
<p>参加者</p>	<p>11名、ファシリテーター3名、事務局3名          属性①年代：20代2名、40代6名、50代3名          属性②バックグラウンド：保育士、地域活動団体、市議会議員、会社員、          パートアルバイト</p>
<p>使用ツール</p>	<p>ローカルダイアログキット</p>

### 【全体の流れ】

1. はじめに  
蕨いきいきキッズプロジェクト 事業趣旨説明
2. ワークショップの進め方の説明  
ファシリテーター紹介  
ローカルダイアログキットを使ったワークショップの進め方の説明
3. ワークショップの実施（2つのグループに分けてワークショップを実施）
  - ①まちの目指す姿（ビジョン設定）の検討
  - ②まちの現状を16枚のダイアログカードを用いて採点
  - ③選んだまちの目指す姿（ビジョン）を達成するために鍵となるダイアログカードを3枚選ぶ
  - ④まちの目指す姿に対して、まちの現状や課題を踏まえながらアクションプランを考える
4. ワークショップ結果の共有・感想振り返り

### 【ワークショップ結果】

図表 16 蕨市 WS コメント(A チーム)

参加者	A チーム メンバー5人
ビジョンカード	⑧人を大事にし、人を育てる風土がある地域 <b>【選択理由】</b> ・すべてを包括している ・子供だけでなく、大人も育ちあえる環境になればいい
ダイアログ カード	(選んだダイアログカード) 5-1：地域に頼れる人がいると思う (NO) 5-2：困っている人を見かけた時に声をかけるなど、協力しあう雰囲気があると思う (NO) 7-5：子供が元気に遊んでいる地域だと思う (NO)  (各カードでの意見) ・1-1：他の町から来た・帰ってきた人が、蕨市にくると笑顔になるという声を聴いた ・1-1：30年近く蕨にいて根を張って生きている人がいない気がする ・1-2：蕨を良くしたいと思って活動している人は多いが、活動がバラバラになってしまっている ・1-2：東京から引っ越してきた。比較すると埼玉から出たことが無い方も多く、チャレンジングが少ない気がする ・1-2：今のこの社会で夢を持っている人がそもそも少数

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3-2：市が小さいので個人的にも繋がりやすい、来やすい</li> <li>・ 4-2：行政の業務は「固い」印象がある</li> <li>・ 5-1：個人的には頼れる人はいるが、周りを見て「多いか？」と言え ば少ない気がする</li> <li>・ 7-2：蕨は医者少なく、さいたま市で見つけた</li> <li>・ 7-1：児童公園はあるが、禁止事項が多いのが気になる。子どもから 頻繁に文句を言われる。</li> <li>・ 11-2：仕事がない、少ない</li> <li>・ 13-2；蕨カルタとか浸透されてないのが残念</li> </ul>
<p>施策案</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ もっと地域で子どもを預けて仕事出来る環境が必要。</li> <li>・ ボールが使える公園が増えたらいい（現状ない）。</li> <li>・ 遊び方を知らないという子もいる、高齢者などが関わって遊び方を 教えるなどが出来ればいい。</li> <li>・ まちづくりをするサポーターを育成する仕組みが必要。</li> <li>・ 行政からの情報伝達の方法を変えられないか？</li> </ul> <p>→「公平性」まどの観点から、出せる情報、出せない情報を行政側でコ ントロールせずに、すべて情報公開して、住民側で選ぶなど</p> <p>→せっかくだいい施策が行われていても、伝わっていないことが多いの で、情報に接触する拠点を、学校や商店、病院などで目に触れやすく するなど</p> <p>→一方で、保育園でそういう情報を設置しているが、なかなかかわらな いという現状もある</p> <p>→イベントやセミナーなどを実施する場所も、公共施設だけではなく、 学校や、商店、病院などで実施すれば参加しやすい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域で高齢者が増えると、「子育て」が他人ごとになる雰囲気がある ので、地域全体で子育てをするという機運が持ち上がればいい</li> </ul>

マップ

ローカルダイアログマップ

人を大事にし、人を育てる  
風土がある地域

**B 行政との民間のしやすさ**

- 行政（国・道）は身近な存在だと思う (3-2) YES
- 産業関連や地域活動に多額の負担を要する工夫が求められると思う (4-2) NO

**C 地域とのつながりやすさ**

- 地域に属する人があると思う (5-1) NO
- 困っている人を見かけた時に声をかけるなど協力しあう雰囲気があると思う (5-2) NO
- 子どもが元気な地域だと思う (4-3) NO
- 子どもが元気な地域だと思う (7-5) NO
- 子どもが元気な地域だと思う (7-6) NO

**A まちのウェルビーイング**

- 幸せだと感じている人が多いと思う (1-1) YES
- 誇りがもたれたい・夢や実現したい目標を持つ人が多いと思う (1-4) NO
- 住んでいる地域にこれからの住み続けたいと思う (2-2) YES

**D 暮らしやすさ**

- 子育てに必要な情報（国・道・安否など）がすぐ入手できる地域があると思う (10-6) YES
- 子育ての悩みや疑問に相談できる人が多いと思う (7-2) NO

**E 地域資源の豊かさ**

- 地域文化・歴史に誇りを感じている人が多いと思う (13-2) NO
- 地域社会を大切に、自分や家族の未来や将来を大切に意識しあっている地域があると思う (11-1) NO
- 地域社会を大切に、自分や家族の未来や将来を大切に意識しあっている地域があると思う (11-2) NO

結果共有



ビジョンカード

8

人を大事にし、人を育てる  
風土がある地域

ダイアログカード

**C 地域とのつながりやすさ**

地域に属する人があると思う (5-1) NO

**C 地域とのつながりやすさ**

困っている人を見かけた時に声をかけるなど協力しあう雰囲気があると思う (5-2) NO

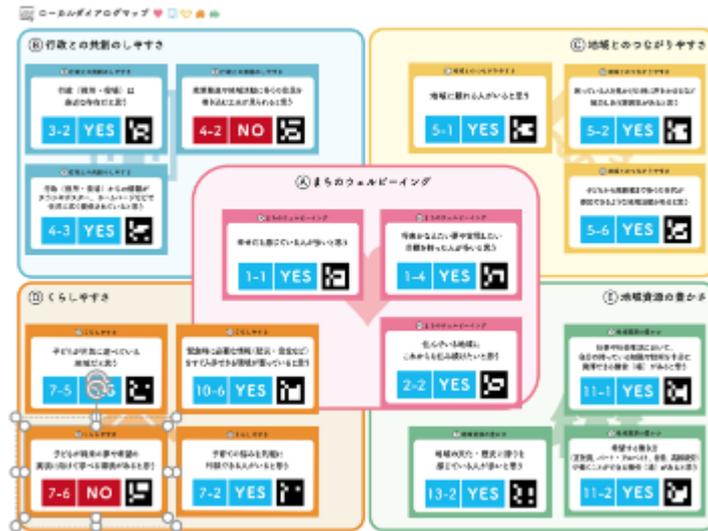
**D 暮らしやすさ**

子どもが元気な地域だと思う (7-5) NO

図表 17 蕨市 WS コメント(Bチーム)

参加者	B チーム メンバー6 人
ビジョンカード	<p>③地域住民が主体性を持って地域の活動やまちづくりに参加しあう地域</p> <p>【選択理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的に活動すれば理想のまちづくり(子育てがしやすいまち)が実現しやすい。</li> </ul>
ダイアログカード	<p>4-2: 政策推進や地域活動に多くの住民を巻き込む工夫がみられると思う (NO)</p> <p>5-2: 困っている人を見かけた時に声をかけるなど、協力しあう雰囲気があると思う (YES)</p> <p>11-1: 仕事や社会生活において、自分の持っている知識や技術を十分に発揮できる機会(場)があると思う (YES)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域とのつながりやすさはおおむね yes が多く、関係性がよい地域と感じている傾向がある</li> <li>・限られた人ではなく住民全員が地域活動に参加できる行政施策を期待する。</li> <li>・困った人を助けられるのは、自身が幸せに暮らしているからこそできると(人を気にかける心の余裕がある)。</li> </ul>
施策案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民の活動を行政が支援する体制づくりを進めると良いと思う</li> <li>・地域活動は多いと思うが、限られた人しかやっていないと感じる。地域の方とコミュニケーションが減っているので多くの方が関われるような場があればいい。</li> <li>・3世代で住んでいるなど地域に愛着を持っている住民が多いので、それぞれが担える役割を振り分け、地域活動を盛り上げていくと良い。</li> </ul>

マップ



ビジョンカード

3

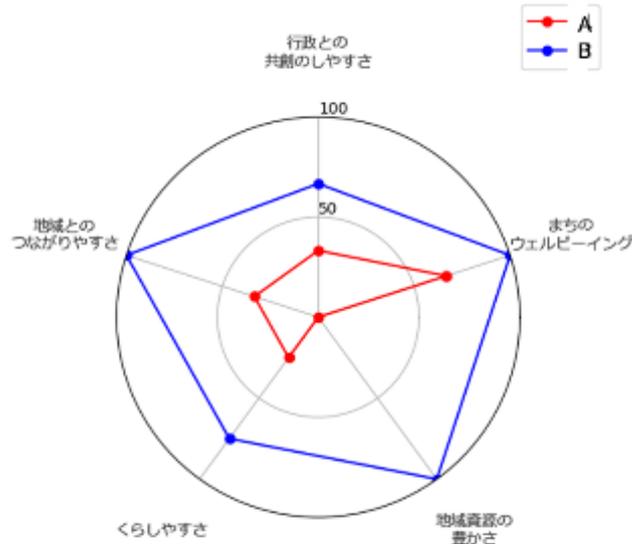
地域の住民が主体性を持って  
地域の活動やまちづくりに  
参加し合う地域

ダイアログカード

<p>行政との共創のしやすさ</p> <p>政策推進や地域活動に多くの住民を巻き込む工夫が見られると思う</p> <p>4-2 NO</p>	<p>地域とのつながりやすさ</p> <p>困っている人を見かけた時に声をかけるなど協力しあう雰囲気があると思う</p> <p>5-2 YES</p>	<p>地域資源の豊かさ</p> <p>仕事や社会生活において、自分の持っている知識や技術を十分に発揮できる機会（場）があると思う</p> <p>11-1 YES</p>
--	---	--

図表 18 は、グループ単位で実施したワークショップの結果を示すものである。各カテゴリー別の地域の現状に対する問いに関し、yes/No でジャッジした結果の比率を表している。属性や地域とのかかわり具合によって、地域の見えている現状や課題認識が違うことを参加者が視覚的に認識でき、包括的な視点で地域の現状を把握し、今後の取り組みの方向性を考える気づきを与えることができる。

図表 18 チーム毎の結果の比較



(ワークショップを終えて参加者感想)

- ・このようなワークショップは初めてだがいろいろな意見がきけてとても参考になった。
- ・保育園の立場からいろいろな情報発信をしていきたい。
- ・ぜひこのようなネットワークを蕨市の中で広げていきたい。
- ・いろいろな職種や立場の方の話がきけてよかった。蕨市にも住んでいるのでぜひ様々な情報発信を自分もしていきたい。
- ・いろいろな人の視点の違いを感じられて、面白かった。
- ・考えたことがないような視点も含んだディスカッションできたが、前もってこのような間があるという情報があると、より多くの意見が言えると思った。
- ・政策推進をする上で、多くの住民を巻き込んでいながらできるようにしてほしい。
- ・みんなが使える公園づくりなど、いろんな世代の意見を広く聞いて必要な子育て政策や教育環境づくりを考えていきたいし、そのような場を設けてほしい。
- ・子ども達の居場所づくりに取り組んでおり、今抱えている課題や、ニーズが聞けて参考になった。
- ・「子育てにやさしいまち 蕨」というなら、条例でドーンと外遊びを奨励するくらい進めても良いのではないかと感じる。
- ・まちのどこで子供が遊んでも暖かく見守られるような環境づくりを目指して活動している。
- ・学童保育を中心に学齢期放課後の過ごし方が現在の課題と感じている。
- ・蕨在住ではないので、まずは蕨のことをもっと知ることから始めていきたい。
- ・生まれた時から蕨にいるが、最近はやはり情報が少ないと感じる。また、子ども会の活動が昔に比べて減少しているなど感じる。こういう現状に対して何か必要な対策が打てれ

ばと思う。

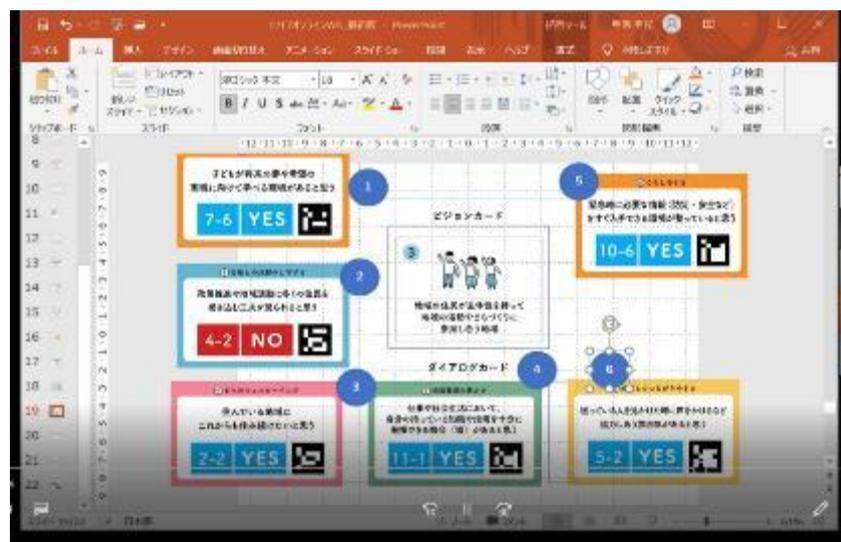
・ボールを使える公園がないなどの子どもたちの遊び場の環境の現状があるが、コロナの問題が出た時期に、子どもたちがおもいきりカラダを動かす遊び場がなく、道路に溢れてしまう状況が起きていた。子ども達が安全に、またボールなどを使いながらおもいきりカラダを動かして遊べるような場を作ってあげたい。

・子育てのみならず、地域活動等にも活動の幅を広げながら、蕨の活性化に取り組んでいきたいと思う。

・いろいろな専門化、地域団体、行政など横のつながりがやっぱり少ないと感じる。今回を機につながりを広げていきたい。

・またこのような機会があればぜひ参加したい。

### 【ワークショップの実施風景】



### 事業⑤運動遊び動画の提供

保育園での運動遊び教室で運動遊びを楽しんだ子どもが自宅でも継続して運動遊びを実施できるように 3 分程度の自宅でできるの運動遊び動画を作成し、プロジェクト専用 youtube チャンネルで提供した。また、市の広報、HP、ツイッター、保育園へのチラシで視聴を促した。

#### (1)定期動画配信

週に 1 回の運動習慣化のため、毎週火曜日に定期的に動画を配信。配信時間については、夕食後の触れ合いの時間に運動遊びを実施できるように、19 時に配信をするように配慮した。

	おうちでできる運動遊び動画定期配信
提供期間/回数	11 月 9 日～1 月 5 日 全 9 回
提供方法	YouTube チャンネルで毎週火曜日 19 時に配信
参加者概要	蕨市内保育園を利用する 0～5 歳児の親子
効果検証方法	子供と一緒に参加したプログラム提供と合わせてスポーツ実施意欲、スポーツ実施の習慣化についてアンケート調査を実施（詳細は後述）。 参加者 最大未就学児約 3,300 人、保護者：約 4,500 人（②女性・③ビジネスパーソン）に対して、76 人から回答を聴取。

提供コンテンツの概要は下図表の通り。

図表 19 定期配信運動遊び動画の概要

運動遊び／キャプチャー	概要	視聴数	配信日
①転がしキャッチボール 	対象：1～5 歳 動き：とる、ころがす（なげる） 特徴：ボールをとる遊びは、投げ方が自由にでき、捕れないことで転がるのを追いかけるので自然と走り、立つ、すわるを繰り返すことになる。上手に捕れないからこそ走り回ることを楽しめるので、距離や方向、バウンドなどまぜて遊ぶことができる。	216	11 月 9 日
②ジャンケンちぢみ	対象：3～5 歳 動き：たつ、すわる 特徴：ジャンケンを楽しみながら、膝を曲げた状態で全身のバ	111	11 月 16 日

	<p>ランスをとるため、下肢や体幹の発達につながる。</p>		
<p>③ひも付き風船バレー 打ち上げ編</p> 	<p>対象：0～5歳 動き：うつ 特徴：ゆっくり動く風船の動きにあわせて自然と手を動かすことで、「目で風船を追う」ことや、とる動作につながる。跳ね上がる風船の動きを追いかけることを楽しむことができる遊び。 0～1歳で歩き回ることが出来ない場合は、手の届く視界に入る範囲に紐のついた風船をぶら下げて触れたり、打ったりして遊ぶことができる。</p>	67	11月23日
<p>④タオルでくるりんぱ</p> 	<p>対象：3～5歳 動き：とぶ、まわる 片足でタオルを飛び越えたり、くるっとまわったりしてバランスをとることを楽しむ遊び。タオルを手で持つことで、子どものチャレンジしたい高さに目標をおいて遊ぶことができる。</p>	46	11月30日
<p>⑤ひも付き風船バレー 打ち合い編</p> 	<p>対象：3～5歳 動き：うつ 相手が打ち返す風船の動きにあわせて体を移動して、風船を落ち返すことでバランスをとったり体をコントロールしたりすることを楽しむ遊び。低い位置の時はしゃがんだり、高い位置の時は飛び跳ねたり、自分</p>	58	12月7日

	<p>の体をコントロールする力につながる。紐をつけることで、遠くに行かないようにコントロールできるので、狭い場所でも安全に遊ぶことができる。</p>		
<p>⑥ バウンドキャッチボール</p> 	<p>対象：2～5歳 動き：とる なげる</p> <p>バウンドしてゆっくり下から跳ねてくるボールでキャッチボールをすることで、飛んでくるボールに対する恐怖心を減らして捕ることができる。バウンドを高くして遊ぶと、体をいっぱいにも使うことも出来るので、狭い場所でも気持ちを存分に発散して遊ぶことができる。</p>	45	12月15日
<p>⑦ 傘玉入れ</p> 	<p>対象：1～5歳 動き：なげる</p> <p>新聞紙のボールは軽く、子どもの投げやすい大きさにすることができる。目標にする的の大きさや場所を変えて見守ると子ども自身が工夫して段々投げ方を変化させていく。</p> <p>1歳児は、傘の骨にぶつかることもあるので、大きめの籠などを替わりに使用すると安全に遊ぶことが出来る。</p>	38	12月22日
<p>⑧ ひも付き風船バレー キック編</p> 	<p>対象：2～5歳 動き：ける</p> <p>ゆっくり動く風船の動きにあわせて自然と移動しキックすることで、「風船との距離と測りながら近づく」ことや、片足でバランスをとる動きにつながります。風船が地面について</p>	52	12月29日

	も、ひもで引き上げることで途切れずに遊び続けることができます。 片足でバランスをとることに慣れていないお子様と遊ぶ時は、手をつないで行うと安全にできます。		
⑨ゆりかご DE シュート 	対象：3～5歳 動き：ふる、ころがる 体をまるめて、揺らすことで足に勢いをつけて、ボールを飛ばす遊び。体の柔軟性や、ボールを離すタイミング、体への力の入れ方をゲーム感覚で楽しみながら経験できる。目標までの距離や、目標の大きさ、投げる物の種類を変化することで、遊びの幅が広がる。ゴールを近くて大きい物から始めると、工夫がしやすい。	56	1月5日

(2)「みんなで作る運動遊び動画」を蕨市で活動する市民団体に撮影してもらい、配信  
子どもに関わる市民団体に参画してもらうことで、大人が子どもの運動遊びについて理解する機会や、競技スポーツを行っている子どもの運動遊びによる動作発達につなげた。  
提供コンテンツの概要は下図表の通り。

図表 20 みんなでつくる運動遊び動画の概要

団体名	運動遊び	概要	視聴数
①わらび剣友会	真剣白羽取り	動いているものをよく見て、動きに合わせて手でキャッチする動作を楽しみながら繰り返し経験できる遊び。新聞紙が折れることで動き方が変わるので、楽しさが増す。	123
②ザ・ドラゴンキッズ	ボトルキャッチ	投げやすいペットボトルを上に向けて投げる動作を楽しみながらキャッチする遊び。回転することで、回る動きも楽しむことができる。ペットボトルの中の水の量を変えると動き方が変わるので、楽しさが増す。	55

③NPO 法人ふうせん	がたごと電車	子どもを膝の上に抱えて「ガタゴト」という言葉とともに、電車をイメージして、膝を上下に、歌に合わせて右に左に傾いたりする遊び。親子の触れ合いで子どもの心を育て、親の運動にもつながる。	40
④Super Funky	リズムでケンパー	手拍子に合わせて、ケンパをして遊ぶ。家族や友達と一緒に色々ケン・パーのタイミングをアレンジすることで楽しさが増す。	32
⑤蕨市テニス協会	転がしラリー	ボールを転がして打ち合う遊び。転がすことでボールとの距離感がつかみやすく、打ち合うことを楽しめる。また、バウンドさせてみたり、直接ねらってみたり、子ども自身の遊びの工夫を引き出せる。思い通りの場所に打てないことで、たくさん走り回ることににつながる。	159
⑥プリマヴェーラ東京	おしり歩き競争	全身の力を使うおしり歩きで競争する遊び。体のコントロールをするので、バランスをとることを楽しめる。	83
⑦蕨北町サッカー	手つなぎ「しっぽ」とり鬼ごっこ	二人組で手をつないであいての「しっぽ」をとる、鬼ごっこ。体のバランスをとりながら、相手をかかわす動きを経験できるので、体をコントロールする力につながる。	119
⑧蕨中央エンゼルス	くるりんツパ!	ボールをバウンドさせて、回ってからキャッチする遊び。ボールの種類やバウンドの回数を変えてみると面白い。	93
⑨蕨市軟式庭球連盟	キャッチ and スロー + ヘディング	飛んできたボールを「おでこ」や「あたま」で、跳ね返す遊び。飛んでくるボールとの距離を楽しんだり、思い切り体を動かして投げる動作や、頭に当てることを楽しんだりして経験できる。	31
⑩子どもミュージカル ラビコ	表現リズム遊び	歌や音楽に合わせて、自由に楽しく踊る遊び。自由に何度もダンスをすることで、動きのおもしろさも体験でき、リズム感につながる。	65

⑪ 蕨てんとうむしの会	いっしょに手遊び	歌詞の意味を理解してイメージすることで想像力が高まる遊び。また、楽しんで体で表現することで表現力の向上につながる。体を大きく動かして遊ぶことで、体のコントロール力にもつながる。	31
⑫ 蕨てんとうむしの会	いっしょに手遊び	歌を歌いながら遊ぶので、リズム感を高めたり、遊びながら体の部位の名前を覚えたりすることにもつながる。また、体を大きく動かすことで、バランスをとることにもつながる。	18
⑬ 蕨グリーンフアイターズ	ゴム跳び遊び	リズムに合わせることで、楽しくタイミングをとってジャンプをすることができる。リズムや高さを変えることで楽しみながら、骨を強くする跳ぶ遊びができる。	80
⑭ 錦ドッジボールアカデミー	ボールを使った遊び	ボールを色々な姿勢でわたす遊び。ボールを持ち、わたす時の力加減や、わたしやすく受け取ったり、受け取りやすくわたしたりするための工夫を引き出すことができる。姿勢を変化させることで、体をコントロールする力にもつながる。	56
⑮ 3DMIX	親子で☆抱っこ&おんぶ	お子さんの成長に合わせて、大人のサポートの仕方を変えたり、アスレチックのようにアレンジしたりと、お子様とアイデアを出し合って、発想豊かに遊びを拡げることにつながる。	37
⑯ ゆりかご	ママとふれあい遊び	「あんたがたどこさ」の歌にあわせて、赤ちゃんを「さ」のところで高い高い！して遊ぶ。激しい動きが好きな子は、軽く投げても楽しむことができる。体が浮く感覚、抱きしめられる感覚の経験になり、動きたい気持ちを育むことにつながる。	22
⑰ 中央ネオホッケークラブ	うちわでくつ下ボールすくい	道具を使うことで力加減を覚え、ボールを操作する感覚を養う遊び。競争をすることで、ルールを考えたり、やり方を工夫したりすることにつながる。	60

⑱どろんこの王様	どこまでとべるかな	目標の目印を子ども同士で決めて遊ぶことができる。自分で決めた目標に向かって遊ぶことで、跳びたい気持ちで自然と遠くに跳ぶ体の使い方の習得につながる。	31
⑲子育てママ応援塾 ほっこり～の	新聞じゃんけん	ジャンケンの勝負を楽しみながら、勝ちたい気持ちで体をコントロールすることでバランス力につながる。バランスをとってグラグラすることを楽しみ負けても楽しいと感じることにもつなげられる。	22
⑳日本舞踊踊りの会	親子でできる手踊り遊び「どんぐりころころ」	歌詞のイメージを表現しながら、曲に合わせて触れ合いながら遊び、歌詞の意味を理解してイメージすることで想像力が高まる。また、楽しんで体で表現することで表現力の向上につながる	66

#### 事業⑥市民の SNS による参加

子どもと遊ぶことが楽しくなった保護者が Instagram 投稿をすることで、運動遊びの横展開を促し、コミュニティ創出を目指す。

##### ●告知媒体

蕨いきいきキッズプロジェクト公式 HP

蕨いきいきキッズプロジェクト概要チラシ

運動遊び動画

イベント終了時

アンケート依頼チラシ&ポスター

蕨市広報

参加数 1件 市民団体 「ザ・ドラゴンキッズ」

### 3. 本事業の実施体制

#### (1) 本事業の実施体制

本事業の実施体制は下記の通り。

実証フィールド	埼玉県蕨市
代表団体	*株式会社ルネサンス
構成団体	*蕨市、*株式会社クレメンティア
構成団体以外の 参画団体	蕨市で活動する市民団体 20 団体

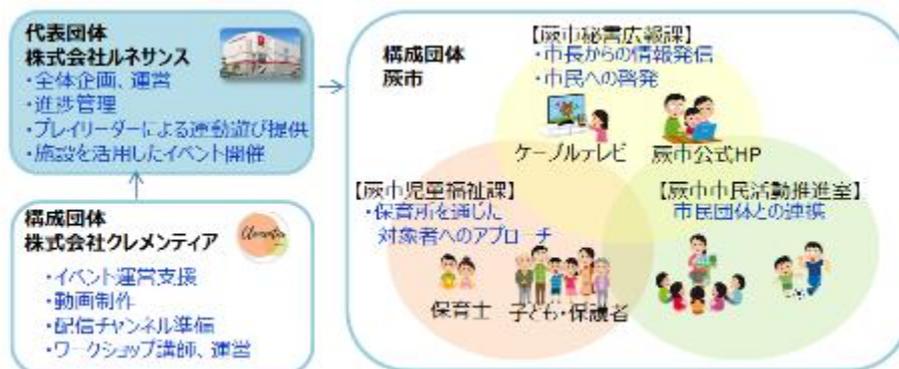
※ 「\*」は Sport in Life コンソーシアム加盟団体

#### (2) 本事業の実施スキーム

本事業における代表団体、構成団体、その他参画団体の役割は下記の通り。

事業運営は、代表団体株式会社ルネサンスが中心となって、自社が有する経験やノウハウを活用して、構成団体蕨市の全面協力により、教室やイベント、勉強会を実施。構成団体株式会社クレメンティアが有する経験、ノウハウにより、事業企画・運営・プロモーションの支援を行う。

図表 21 事業スキーム図



#### 4. 事業の実施効果（スポーツ実施頻度、実施意欲の改善効果）

##### （1）効果検証方法

###### 【0～5歳の未就学児への実施効果】

0～5歳の未就学児に対して実施した事業の効果を検証するために、下記のような考え方で事前事後調査を行い、運動に対する意識の改善（運動を好きになる）、運動への取組意欲向上、及び取組み時間増加に関する効果検証を実施した。期待される効果と検証方法は下記の通り。

**図表 22 期待される効果と検証方法**

期待される効果	検証方法
運動に対する意識の改善 ・運動遊びが楽しいと感じた（好きになった）割合：8割以上	事業の全プログラム提供後にアンケート調査を実施し、プログラム提供前後の運動に対する意識の変化について分析を行い、意識の改善効果を検証。
運動の実施意欲の改善 ・運動に対する意欲をもった割合：未実施者5割以上	事業の全プログラム提供後にアンケート調査を実施し、プログラム提供前後におけるスポーツへの取組意欲の変化について分析を行い、スポーツの実施意欲改善効果を検証。
運動実施時間の増加 ・1日の運動時間増加者の割合：事前+10%以上	事業の全プログラム提供後にアンケート調査を実施し、プログラム提供前後のスポーツ実施頻度について比較分析を行い、スポーツ習慣の定着効果を検証。

###### 【子育て中の30～40代の女性への実施効果】

30～40代の女性に対して実施した事業の効果を検証するために、下記のような考え方で事前事後調査を行い、運動・スポーツへの取組意欲向上、及び習慣化に関する効果検証を実施した。期待される効果と検証方法は下記の通り。

**図表 23 期待される効果と検証方法**

期待される効果	検証方法
スポーツの実施意欲の改善 ・運動に対する意欲をもった：未実施者の5割以上	事業の全プログラム提供後にアンケート調査を実施し、プログラム提供前後における運動（スポーツ）への取組意欲について比較分析を行い、運動（スポーツ）の実施意欲改善効果を検証。
スポーツ実施の習慣化 ・週1日以上の実施の割合：事前+10%以上	事業の全プログラム提供後にアンケート調査を実施し、プログラム提供前後の運動（スポーツ）実施頻度について比較分析を行い、運動（スポーツ）習慣の定着効

	果を検証。
子どもの運動遊びに関する リテラシーの向上 ・運動遊びの必要性を理解 するきっかけになったか： 改善した割合 8 割以上	事業の全プログラム提供後にアンケート調査を実施 し、プログラム提供前後の子どもの運動遊びに対する 必要性の理解について分析を行い、子どもの運動機会 の創出効果を検証。

## (2) 効果検証の結果

### 【0～5歳の未就学児への実施効果】

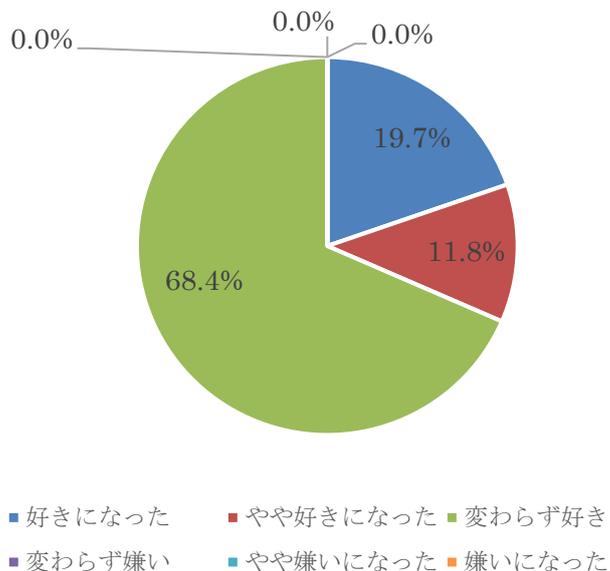
プログラム提供後にアンケート調査（事前と事後調査）を実施し、プログラム提供前後における運動（遊び）・スポーツに関する「意識」「意欲」「時間」について、比較分析を行った。

0～5歳の未就学児に対して期待される効果の検証結果は下記の通り。

#### ①運動（遊び）に対する意識の改善効果

プログラムを実施したことによって、以前に比べて運動・スポーツに対する意識が変わったかどうかの設問について、「運動遊び・スポーツを好きになったか」の問に対して「好きになった」19.7%、「やや好きになった」11.8%と3割以上の改善がみられ、変わらず好きを含めると100%が運動を好きと回答した。

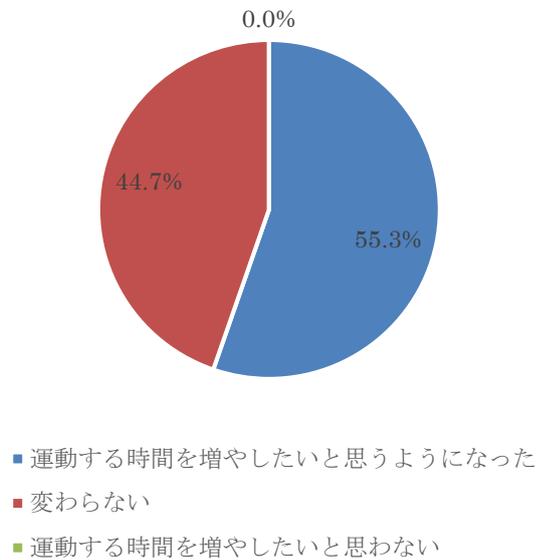
図表24 運動に対する意識の変化(子ども) (n76)



#### ②運動（遊び）の実施意欲の改善効果

プログラム実施前後の運動・スポーツを実施する意欲の変化に関する設問について、「運動遊び・スポーツをする時間を増やしたいと思うか」の問に対して「増やしたいと思う」と回答した割合が55.3%と、スポーツ実施意欲の改善が見られた。

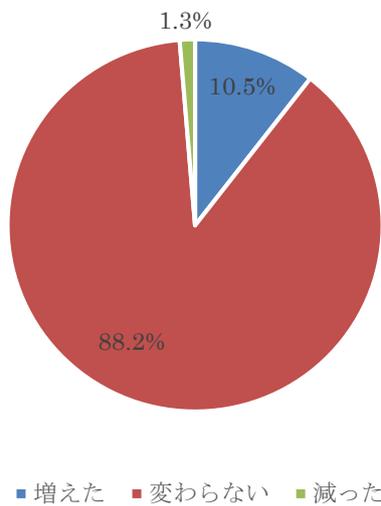
図表25 運動に対する意欲の変化(n76)



### ③一日の運動（遊び）時間の増加

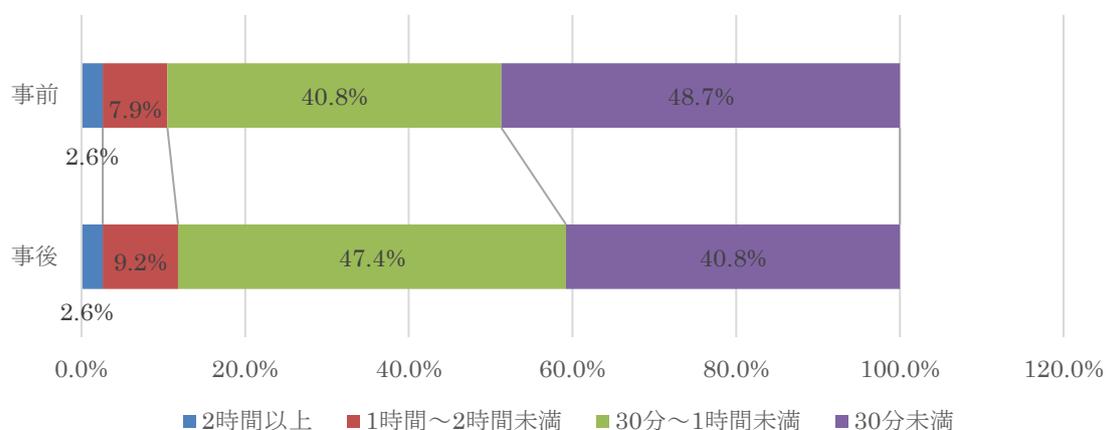
事業終了後のアンケートにおいて、事業前と事業後の一日の運動実施時間について質問したところ、10.5%が増えたと回答。

図表26 子ども運動実施時間の変化(n76)



また、一日の運動実施時間が30分未満と回答した割合が事前48.7%から事後40.8%と減少。約8%が事業期間内において改善した。

図表27 1日の運動遊び実施時間(子ども)(n76)

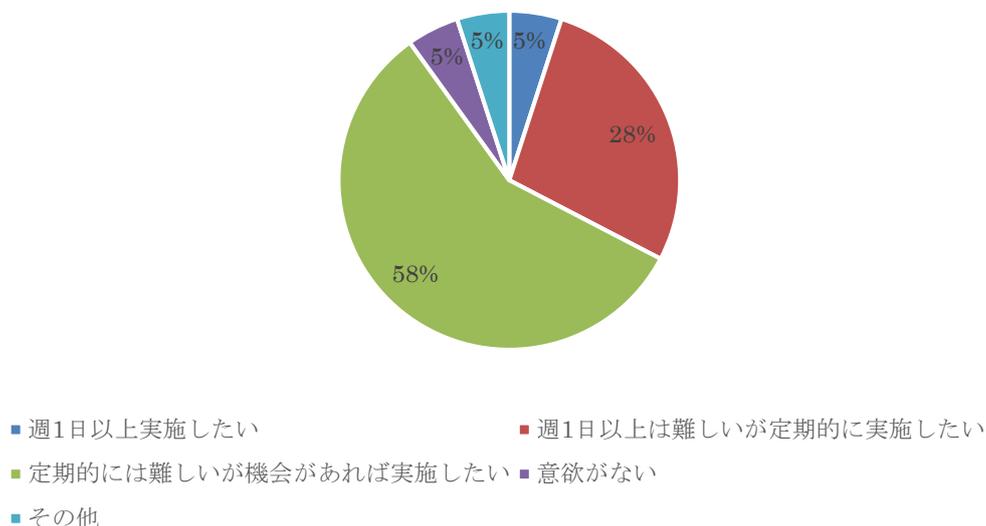


【子育て中の30代～40代の女性への実施効果】

①運動・スポーツの実施意欲の改善効果

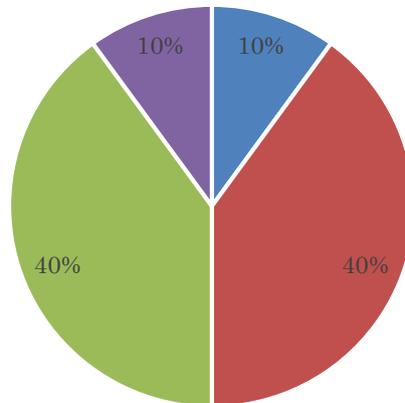
週1日以上運動・スポーツを実施していないと回答した対象に対し、運動実施に対する意欲を調査したところ、「定期的には難しいが、機会があれば実施したいと意欲を持った」が1番多く58%で、反対に「意欲を持たなかった」は5%だった。

図表28 運動に対する意欲(女性全体)(n41)



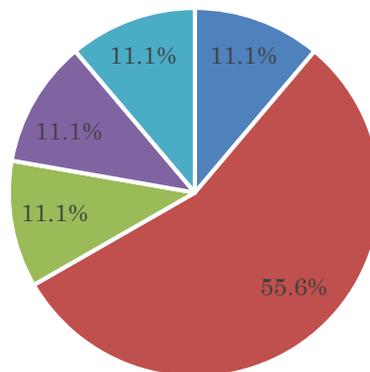
また、運動実施状況が週1回未満の親子イベント参加者の意欲について分析したところ、9割が意欲を持ったと回答。その理由として「子どもと一緒に遊び体力が必要と感じた」が55%を占めたことから、子どもと一緒に運動遊びをすることが自身の体力状況の把握につながり、運動習慣化のきっかけになることが示唆された。

図表29 運動に対する意欲(女性 親子イベント参加者)(n15)



- 週1回以上、運動・スポーツを実施したい
- 週1回までは難しくても、定期的に実施したい
- 定期的には難しいが、機会があれば実施したい
- 意欲は持っていない

図表30 運動意欲改善の理由(女性 親子イベント参加者)(n10)

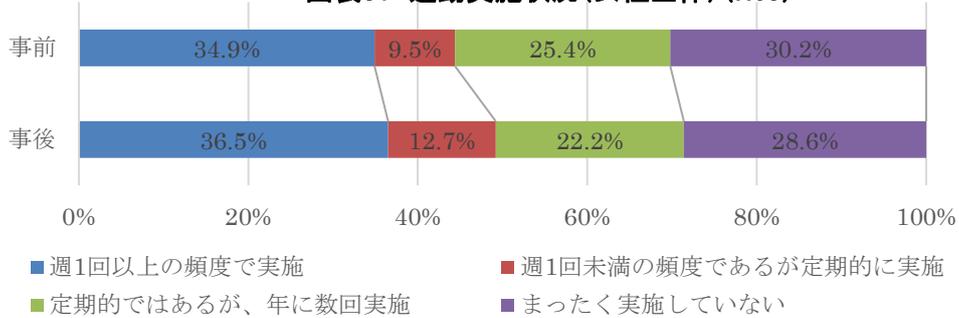


- 子どもと一緒に遊ぶために体力が必要だと感じた
- 「楽しい」や「爽快感」を感じた
- 自身に必要なと思った
- 気分転換
- 子どもと一緒にならできると思った

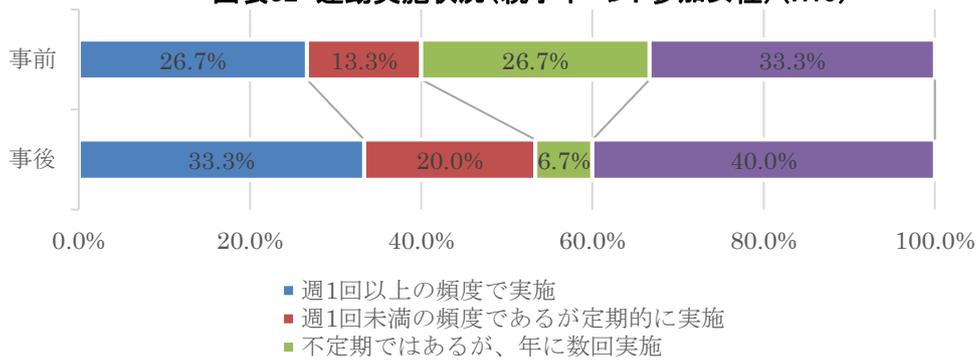
## ②運動・スポーツの習慣化の改善効果

「週に1回未満の頻度ではあるが定期的実施 10%⇒13%」「週に1回以上の頻度で実施 35%⇒37%」と若干増加傾向はみられるが、週1回以上実施が事前+10%は達成できなかった。

図表31 運動実施状況(女性全体)(n63)

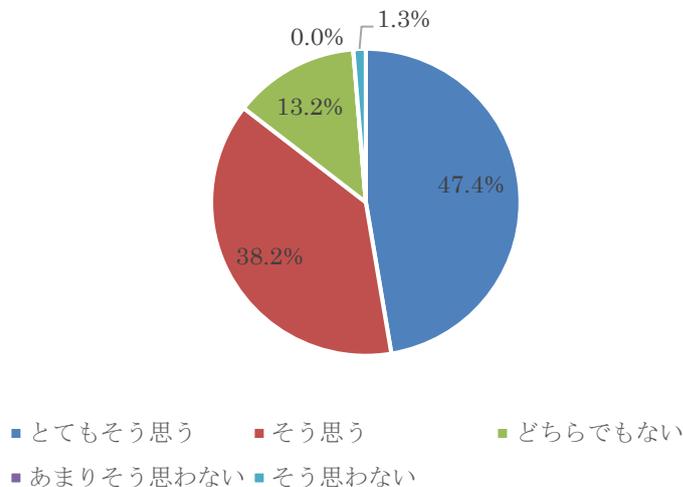


図表32 運動実施状況(親子イベント参加女性)(n15)



## ③子どもの運動遊びについてのリテラシーの改善効果

図表33 子どもの運動遊びの必要性についての理解(n63)



「事業に参加して子どもの運動遊びの必要性についての理解するきっかけになったか」の問に対し、「とてもそう思う 44%」「そう思う 41%」と 85%が子どもの運動遊びの必要性を知るきっかけとなったことから、リテラシーの改善につながったことがわかる。

また、30～40代女性の回答者 63 人の事前事後の変化を個別に調査をしたところ、週 1 回以上の運動・スポーツ実施をしていないと回答した 41 人のうち、9 人が「実施状況が改善した」と回答し、そのうち 5 人が「週 1 回以上実施」に改善した。

事前事後共に「まったく実施していない」と回答した 16 人のうち 14 人 (87.5%) が何らかの運動に対する意欲をもったと回答した。

「まったく実施していない」と回答した人が意欲を持った理由として、「①子どもと一緒にならできると思った」5 人、「②子どもと一緒に遊ぶために体力が必要と感じた」5 人と、71.4%が子どもとの遊びがきっかけとなったと回答した。

また、今後の運動について「①子どもと一緒に週 1 回以上は遊ぼうと思う。」「②子どもと一緒に週 1 回は難しくても定期的に遊ぼうと思う。」と 68.7%が子どもとの遊びの機会を増やすと回答した。

## 5. スポーツ実施改善の要因の分析（阻害要因や促進要因の仮説検証）

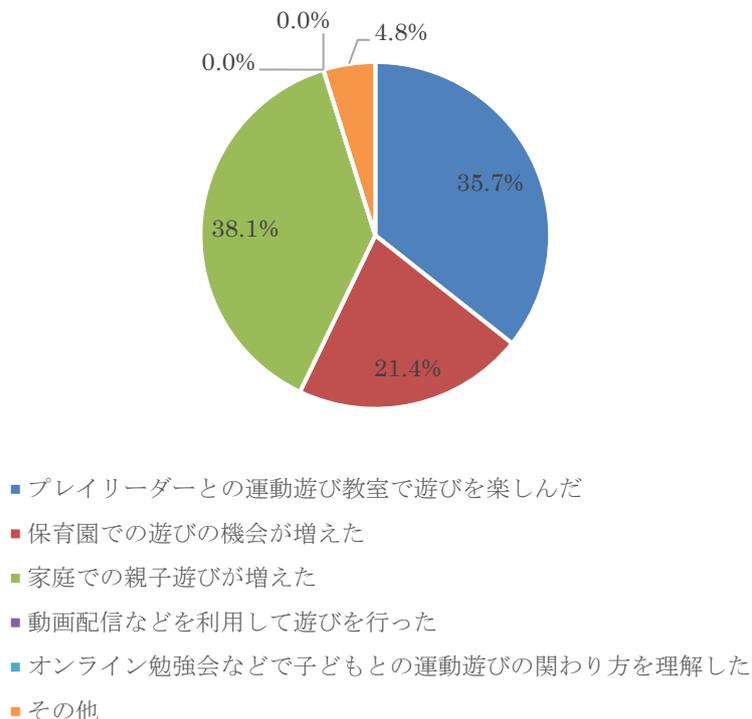
### 【0～5歳の未就学児におけるスポーツ実施改善の要因の分析】

0～5歳の未就学児のスポーツ実施の阻害要因「運動に対する苦手意識により、運動離れが起きている」について検証、分析を実施した。

事前調査で一日の運動時間が30分未満と回答した37名で、事後調査で運動時間が30分以上に増加した対象7名のうち、71.4%は事業実施後に運動遊びを「好きになった」「やや好きになった」と回答しており、28.6%については「以前から変わらず好き」と回答。

また、運動実施時間の増加の理由について分析を行ったところ、「保育園での遊びの機会が増えた」「家庭での親子遊びが増えた」と回答した割合はそれぞれ42.9%、「プレイリーダーとの運動遊びが楽しかった」は35.7%だったことから、子どもの遊び時間を増やすためには保育士や保護者など関わる大人の関わり方が一定の影響を与えていることが示唆された。回答全数の調査結果でも、「運動遊びに対する意欲が向上した」と回答した理由を分析すると「家庭での運動遊びが増えた」が38.1%で1番多かった。

図表34 事業後の運動遊び意欲向上の理由(n42)



### 【子育て中の30代～40代の女性におけるスポーツ実施改善の要因の分析】

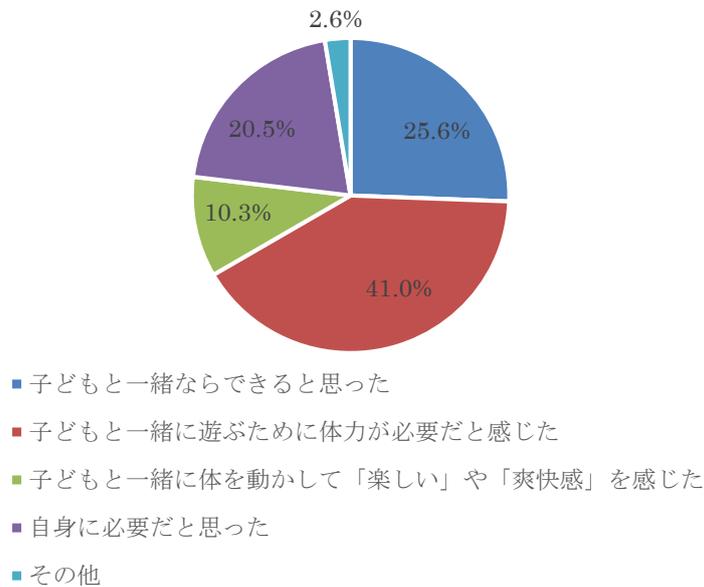
#### 阻害要因②「子育てをしながら親本人の運動時間の確保が困難」

対象者の中で、事前調査でスポーツ実施率が週一日未満と回答した41人のうち、事後調査でスポーツ実施率が週一日以上と回答した5名の、運動・スポーツの実施意欲を持

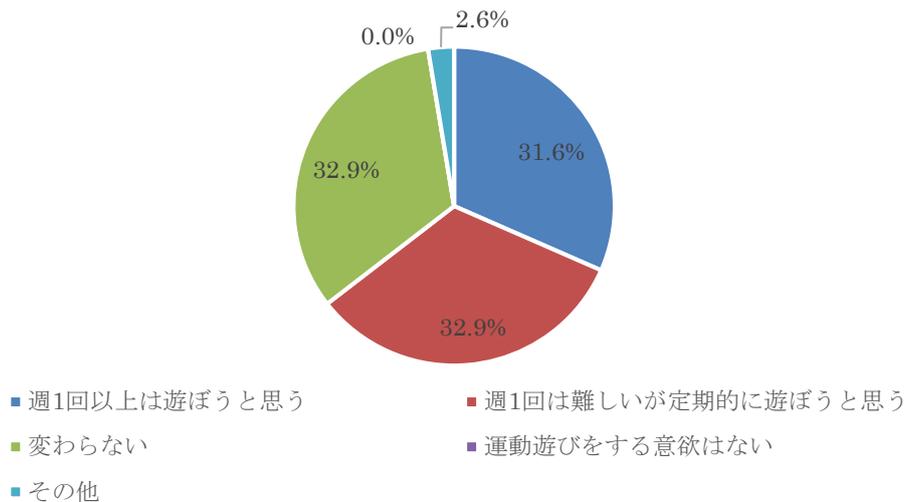
った理由について分析を行った。

対象者の4割が「子どもと一緒に遊ぶために体力が必要」と回答しており、次いで「子どもと一緒にならでできる 25.6%」、「子どもと一緒に体を動かして「楽しい」や「爽快感」を感じた 10.3%」と、子どもと一緒に運動遊びをすることが母親自身の体力状況の把握につながり、子育て世代女性の運動習慣化のきっかけになることを示唆している。また、意欲を持ったと回答した全員が運動遊びで感じた事で、「子どもの頑張る姿を見ることができてうれしい」を選択しており、親本人が「楽しいと感じた」を上回った。

図表35 運動への意欲の理由(女性)(n10)



図表36 事業後、親の子どもと遊ぶ意欲変化(n33)



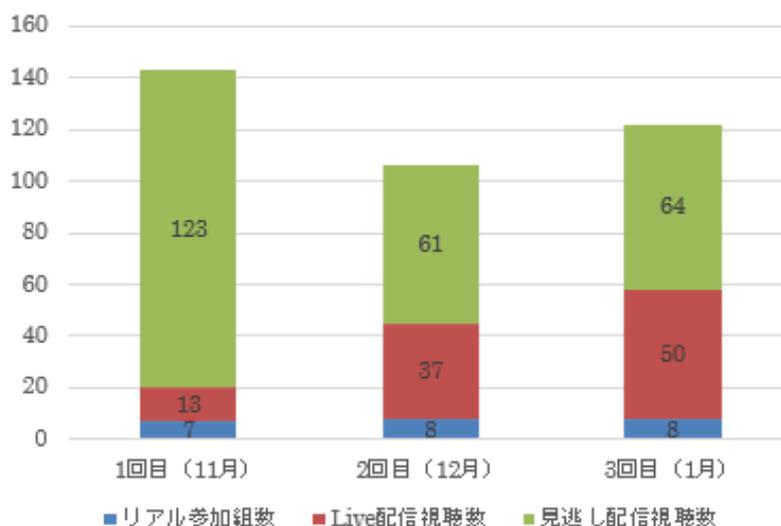
スポーツ実施率が週一日未満と回答した 33 名について、その約 2 割が子どもと一緒に週 1 回以上遊ぼうと思うと回答し、約 5 割が「週 1 回は難しいが定期的に遊ぼうと思う」と回答した。子どもとの運動遊びが母親の運動実施のきっかけになることにより、子どもがスポーツを好きになり、母親のスポーツ実施を促すというメカニズムが生まれていることが示唆された。

【0～5 歳の未就学児および子育て中の 30 代～40 代の女性におけるスポーツ実施改善の要因の分析】

阻害要因③「新型コロナウイルスの影響で、リアルの中で集まって遊ぶことが困難」

アンケートで回答者の動画参加の件数は 4 件であったため、動画による運動実施効果の把握をアンケート結果から得ることは困難であると考え、YouTube で配信した運動遊び動画の実際の視聴数は定期配信で 689 件、イベント動画の視聴数 348 件と、また、みんなで作る運動遊び 1,223 件とコロナ禍でイベントの中止や戸外で自由に遊ぶことが困難な社会環境において、運動遊びの機会につながっており、運動実施に一定の影響があることが示唆された。

図表 37 リアル&ライブ親子運動遊びイベント参加数



リアル&ライブ親子運動遊びイベント参加結果

リアル参加数：23 組 定員：30 組 (10 組×3 回)

動画視聴数：348 回

1 回目：136 件 2 回目：98 件 3 回目：114 件

リアルで 1 回あたり約 100 組がイベントに参加したことになり、コロナ禍でリアルで集合型のイベント開催が難しい中、オンラインを活用したことにより運動機会の創出について一定の成果が得られた。

## 6. 本事業から得られた波及効果

①蕨市内で活動する市民団体の協力を得たことにより、子どもの運動遊びに関して関心を持った 20 団体が、民間との連携により健やかな子どもを育む環境について考える機会になった。また、乳幼児から高齢者までが楽しく体を動かす活動ができる場を、広く市民に伝えるきっかけとなった。

②子どもの運動遊びの集まりをきっかけに、同世代の子どもをもつ保護者が子どもの遊び相手や保護者自身の相談相手を見つける機会になった。

## 7. 今後の事業展開予定

### (1) 事業継続や横展開に向けたポイント、課題

#### ①動画コンテンツの活用の見直し

動画コンテンツを制作しコロナ禍でも親子で取組む運動遊びにつなげることが可能になったが、今年度事業内で浸透ができていなかったことを踏まえて、事業継続をする上では直接保護者にアプローチする機会を設ける等、周知の方法を見直す必要がある。

#### ②運動遊び環境の改善

保育士の運動遊びに関する学びの状況は84%を超えたが、住民の勉強会動画視聴は3.9%であった。住民に対して子どもの運動遊びに関するリテラシーを高めることにより、子どもの運動遊び環境が発育発達に沿ったものに改善を図る。

### (2) 次年度以降の事業継続、横展開の計画

#### ①動画コンテンツを活用した運動遊びの習慣化

- ・ イベントや教室の案内に合わせて既にある動画コンテンツを紹介。
- ・ 本事業で連携した団体やその他の子ども向けにスポーツ教室をしている団体などとも連携したりリアルや動画を活用した運動遊び機会創出を図る。
- ・ 研修動画で学んだ保育士から保育園保護者が集まる機会に動画コンテンツの活用を案内し、家庭での運動遊びの習慣化を図る。

#### ②運動遊び環境の向上と運動遊び機会の創出

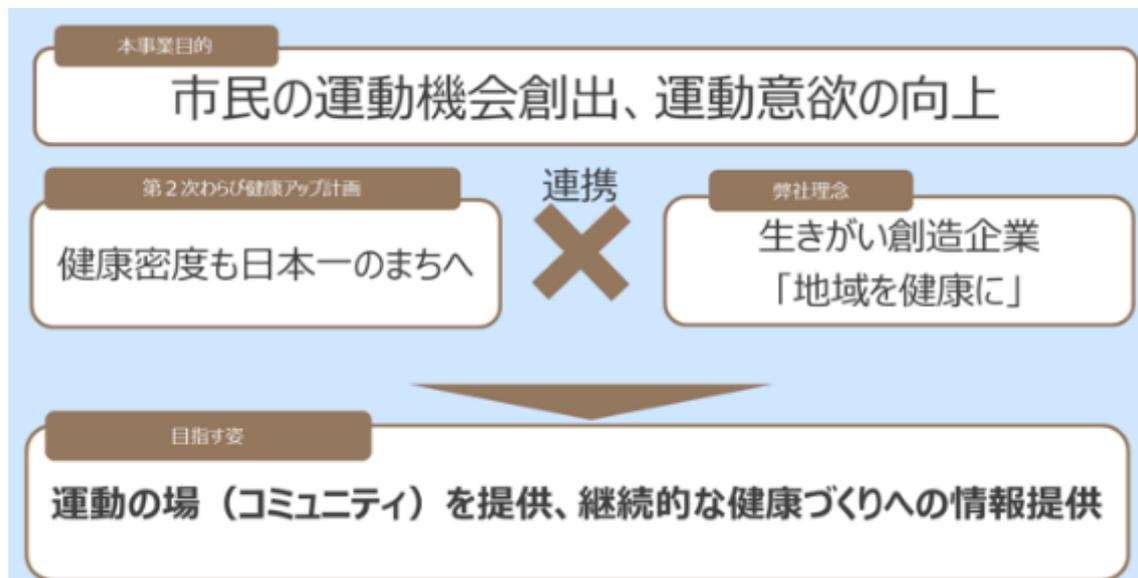
勉強会動画により、地域で活動する住民にプレイリーダーの概念理解を促し、子どもの運動遊び環境の改善を図る。

#### ③今後の事業展開予定

- ・ 市、教育委員会と連携して小学生や中学生にターゲットを拡大し保護者の巻き込みを図る。その後職員課や保健センター、生涯学習課など横の連携によりターゲット層を広げ、子どもの運動遊びに関わることをきっかけに自身の運動習慣につなげていく。
- ・ 住民が、専門性の高いトレーナーの指導のもとにスポーツクラブの施設を利用することで、「運動機会の創出」や「運動意欲向上」を図る取り組みを自治体の自主財源により計画しており、本事業をきっかけにターゲットを未就学児から高齢者まで広げ、「運動の場」や「継続的な健康づくりの情報」の提供を進める。

今後、第2次わらび健康アップ計画の方針でもある「健康密度も日本一のまちへ」の実現に向けて自治体と協力して推進を図る。

図表 38 蕨市とルネサンスの取組み



- (3) 今後の事業展開に向けて期待される sport in Life プロジェクトにおける取組
- ・ 事業期間が短く、準備期間が実証期間と同時進行になってしまったので、9月以前から事業開始できるスケジュールの確保を期待します。
  - ・ SDG s ラボなどのプラットフォームと情報連携をしていただき、必要としているフィールドや事業者との事業連携がしやすくなることを期待します。

## 8. 終わりに

本事業より子どもの運動時間確保や運動を好きになるためには、大人の関わり方が一定の影響を与えることが示唆された。また、子育て世代の女性の運動実施意欲には、子どもと楽しく体を動かすことが一定の影響を与えることが示唆された。以上のことから、親子と一緒に楽しく体を動かす機会を創出することは、子どもの運動機会、子育て世代の女性双方の運動実施に影響しているということが示唆された。

今後、無関心層が含まれる集合体に対して親子の運動遊びの機会の創出が、事業の成果を高めると考える。

### ■事業の告知、集客ツール

- ・蕨市広報誌（市内全戸配布、市公式HPでWeb掲載）



- ・蕨市 HP、ツイッター

<https://www.city.warabi.saitama.jp/kosodate/shien/shien/1006768.html>



- ・事業全体の案内チラシ 市内保育園全利用者 4,000 部配布



- ・事業案内 HP



- ・園ごと親子運動遊びイベント案内チラシ 公立園各園毎0～2歳児 250 部配布



- ・動画案内チラシ 市内全保育園 4,000部配布



- ・動画参加案内 Web リスティング広告
- ・動画配信 YouTube チャンネル作成



- ・アンケート回答依頼ポスター 公立保育園利用者に案内



- ・ 蕨市と株式会社ルネサンスの事業協定のリリース



- ・ 蕨市ケーブルテレビからの発信
  - ・ 市長からの事業 PR



## 参考資料 アンケート調査票・集計結果

### アンケート調査票

#### 参加者（成人）に関する設問

Q-1 あなたが参加した事業を回答してください。	回答欄
①保育園での運動遊び教室	
②保育園での親子運動遊び教室	
③子育て情報コミュニティ&運動遊び	
④リアル&ライブ配信による親子運動遊びイベント	
⑤運動遊び動画配信	
⑥保育関係者向け勉強会	
⑦保護者向けオンライン勉強会	
Q-2 あなたの年齢・性別を教えてください。	回答欄
(性別)	
①男性	
②女性	
③答えたくない。	
(年齢)	
①20代	
②30代	
③40代	
④50代	
⑤60代	
⑥70代以上	
⑦答えたくない。	
Q-3 この事業に参加する前の運動・スポーツの実施状況について教えてください。	回答欄
①週に1回以上の頻度で実施していた。	
②週に1回未満の頻度であるが定期的実施していた。	
③不定期ではあるが、年に数回程度は実施していた。	
④全く実施していなかった。	
Q-4 この事業に参加した後のお子様との運動遊びの実施状況について教えてください。	回答欄
①以前から機会があったが、更が増えた。	
②以前は機会がなかったが、増えた。	
③以前から機会があり、特に変わらない。	
④以前から実施していないが、特に変わらない。	
⑤運動遊びの機会は減った。	
Q-5 この事業に参加した後の運動(運動遊び含む)・スポーツの実施状況について教えてください。	回答欄
①週に1回以上の頻度で実施している。	
②週に1回未満の頻度であるが定期的実施している。	
③不定期ではあるが、年に数回は実施している。	
④全く実施していない。	
Q-6 現在週1回以上運動(運動遊び含む)・スポーツを実施していない方(Q-5で②~④と回答した方)にお伺いします。この事業に参加した後の運動・スポーツへの意欲の変化について教えてください(まだ実施に至ってなくても構いませんので、運動・スポーツ実施への意欲について教えてください。)	回答欄
①週1日以上実施したいという意欲を持つようになった。	
②週1日までは難しくても、定期的にしたいという意欲を持つようになった。	
③機会があればしたいという意欲を持つようになった。	
④意欲は持っていない(機会があっても実施したいとは思わない。)	
⑤その他( )	

Q-7 Q-6で①～③と回答した方にお伺いします。運動(運動遊びを含む)・スポーツを実施したいという意欲を持つようになった理由をお聞かせください。(複数回答可)	回答欄
①子どもと一緒にできると思った。	
②子どもと一緒に遊ぶために体力が必要だと感じた。	
③子どもと一緒に体を動かして、「楽しい」や「爽快感」を感じた。	
④自身に必要なと思った。	
⑤その他( )	

Q-8 本事業に参加した後で親子の運動遊びの機会は増えそうですか？	回答欄
①子どもと一緒に週1回以上は遊ぼうと思う。	
②子どもと一緒に週1回は難しくても定期的に遊ぼうと思う	
③変わらない	
④子どもと一緒に運動遊びをする意欲はない。	
⑤その他( )	

Q-9 お子様と一緒に運動遊びをして感じたことをお答えください。(複数回答可)	回答欄
①体を動かすことが楽しく感じた。	
②子どもの笑顔や頑張る姿を見てうれしく思った。	
③子どもと一緒に運動遊びをすることで、親子の会話が増えた。	
④子どもと遊ぶためにストレスが増えた。	
⑤その他( )	

Q-10 子どもの運動遊びの必要性について理解するきっかけになりましたか	回答欄
①とてもそう思う	
②そう思う	
③どちらでもない	
④あまりそう思わない	
⑤そう思わない	

Q-11 自宅で運動遊びのライブ配信や動画を見てお子様と一緒に遊びましたか	回答欄
①週3回以上やってみた	
②週2回はやってみた	
③週1回はやってみた	
④定期的ではないがやってみた	
⑤やらなかった	

参加者（子ども）についての設問

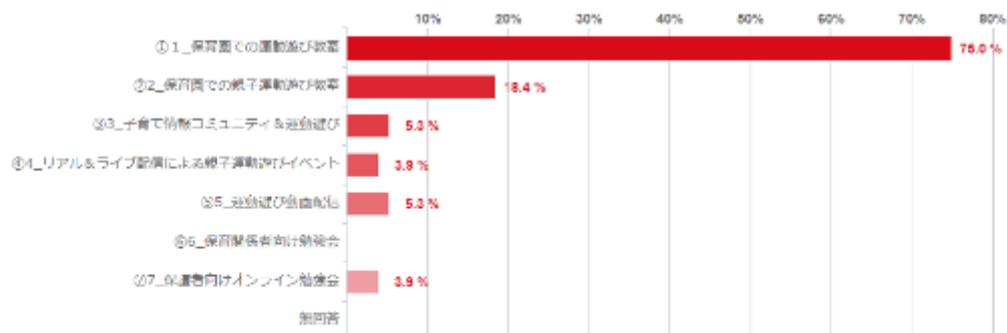
Q-12 お子様の年齢・性別を教えてください。	回答欄
(性別)	
①男性	
②女性	
③答えたくない。	
(年齢)	
①4歳以下	
②5歳～6歳	
③7歳～12歳	
④13歳～15歳	
⑤16歳～19歳	
⑥答えたくない。	

Q-13 お子様は、この事業に参加して、運動遊びやスポーツをすることを好きになりましたか。	回答欄
①好きになった	
②やや好きになった	
③変わらず好き	
④変わらず嫌い	
⑤やや嫌いになった	
⑥嫌いになった	
Q-14 お子様は、この事業に参加する前、(学校、保育園等の体育の授業以外で)運動遊びやスポーツを1日に平均でどれくらい実施していましたか。	回答欄
①30分未満	
②30分以上1時間未満	
③1時間以上2時間未満	
④2時間以上	
Q-15 お子様は、この事業に参加した後、(学校、保育園等の体育の授業以外で)運動遊びやスポーツを1日に平均でどれくらい実施していますか。	回答欄
①30分未満	
②30分以上1時間未満	
③1時間以上2時間未満	
④2時間以上	
Q-16 この事業に参加した後のお子様の運動遊び・スポーツ実施への意欲の変化について「運動遊び・スポーツをする時間を増やしたいと思うようになったかどうか教えてください(まだ実施に至ってなくても構いませんので、意欲の変化について教えてください。)	回答欄
①増やしたいと思う(遊びたいと言うようになった)	
②変わらない	
③増やしたいと思わない(遊びたくないと言うようになった)	
Q-17 Q-16で①と回答した方にお伺いします。運動遊びやスポーツをする時間を増やしたいと思った理由をお聞かせください。	回答欄
①プレイリーダーによる運動遊び教室で遊びを楽しんだ	
②保育園での遊びの機会が増えた	
③家庭での親子遊びが増えた	
④動画配信などを利用して遊びを行った	
⑤オンライン勉強会などで子どもとの運動遊びの関わり方を理解した	
⑥その他( )	
Q-18 本事業について、良かった点、改善してほしい点を記載ください。	

## アンケート回答

### Q1.

あなたが参加した事業を回答してください。  
(回答数: 76)



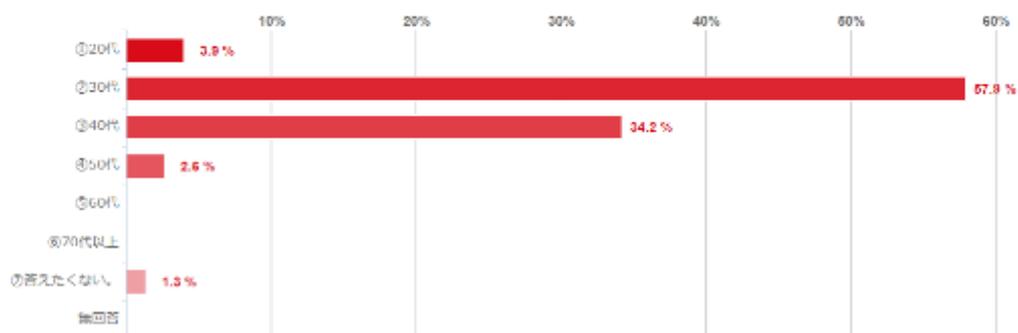
### Q2.

あなたの性別を教えてください。  
(回答数: 76)



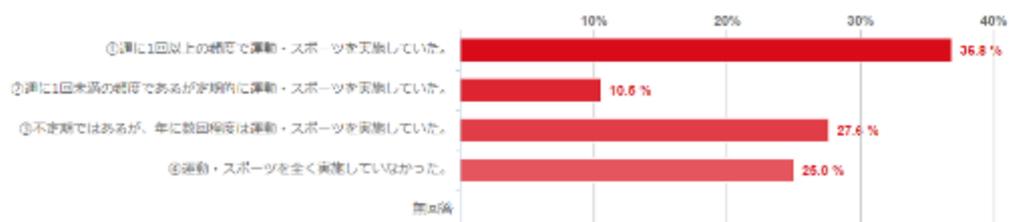
### Q3.

あなたの年齢を教えてください。  
(回答数: 76)



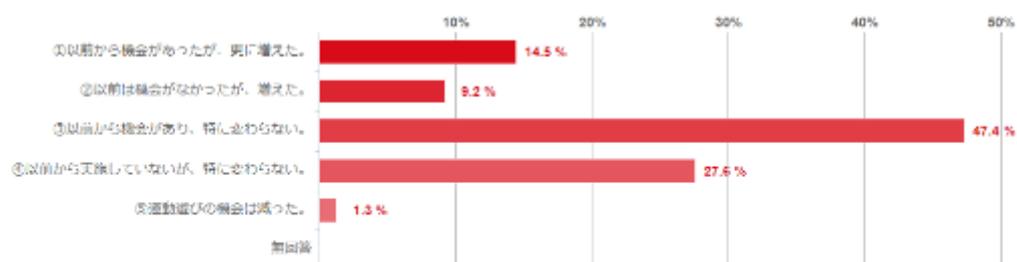
#### Q4.

この事業に参加する前の運動・スポーツの実施状況について教えてください。  
(回答数: 76)



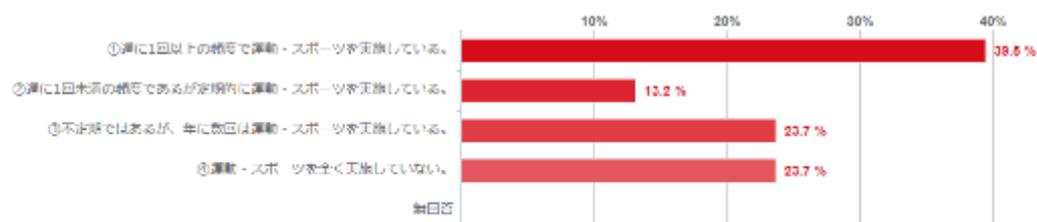
#### Q5.

この事業に参加した後のお子様との運動遊びの実施状況について教えてください。  
(回答数: 76)



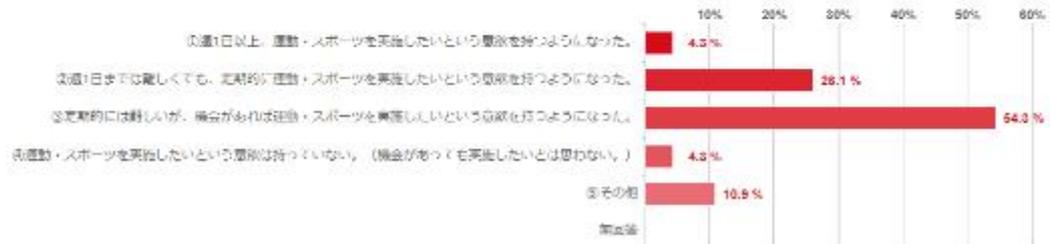
#### Q6.

この事業に参加した後の運動（運動遊び含む）、スポーツの実施状況について教えてください。  
(回答数: 76)



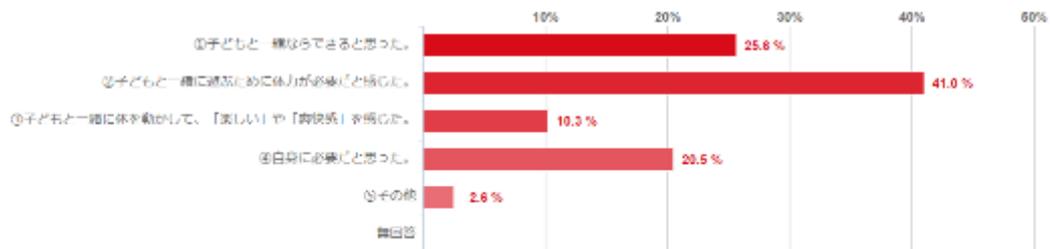
### Q7.

現在週1回以上運動（運動遊び含む）・スポーツを実施していない方（Q6で②～④と回答した方）にお伺いします。  
 この事業に参加した後の運動・スポーツへの意欲の変化について教えてください。  
 （※が実施前）に至ってはいなくても構いませんので、運動・スポーツ実施への意欲について教えてください。  
 （回答数：46）



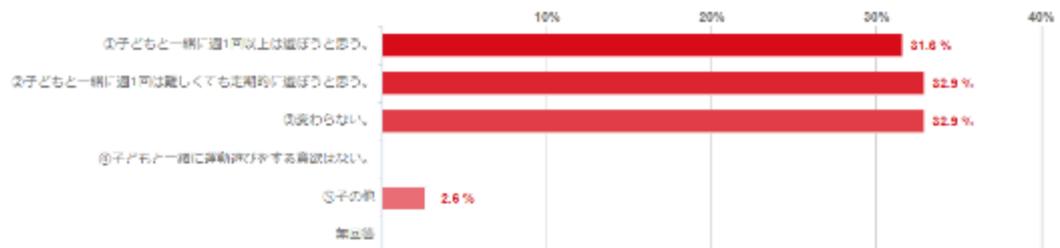
### Q8.

Q7で①～④と回答した方にお伺いします。  
 運動（運動遊びを含む）・スポーツを実施したいという意欲を持つようになった理由をお聞かせください。  
 （回答数：39）



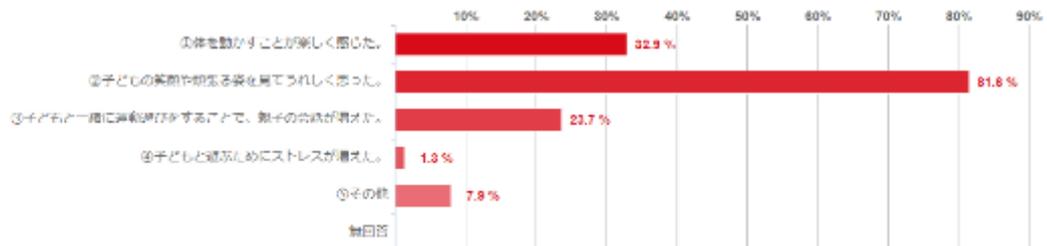
### Q9.

本事業に参加した後で親子の運動遊びの機会は増えそうですか？  
 （回答数：76）



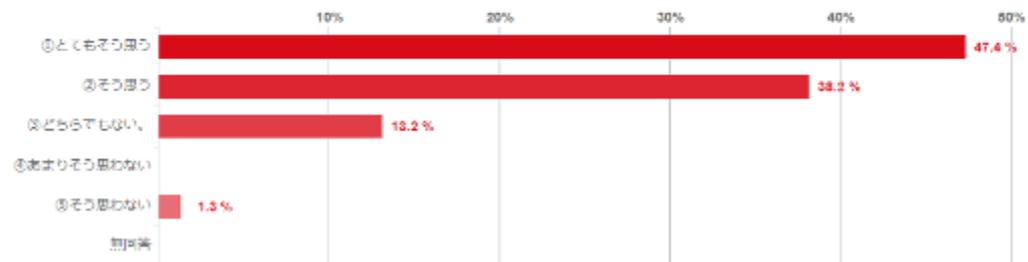
**Q10.**

お子様と一緒に運動遊びをして感じたことをお答えください。  
(回答数: 76)



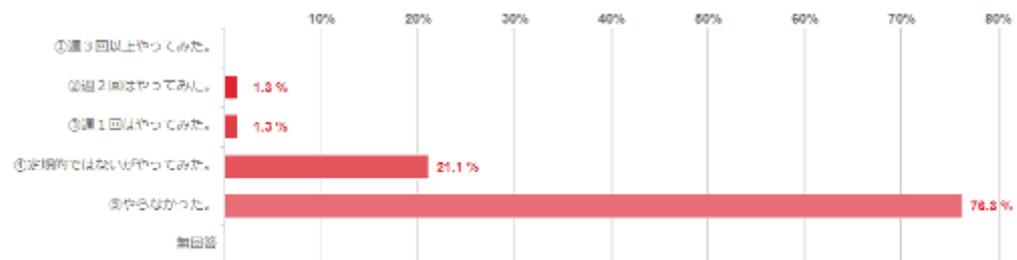
**Q11.**

子どもの運動遊びの必要性について理解するきっかけになりましたか。  
(回答数: 76)



**Q12.**

自宅で運動遊びのライブ配信や動画を観てお子様と一緒に遊びましたが、  
(回答数: 76)



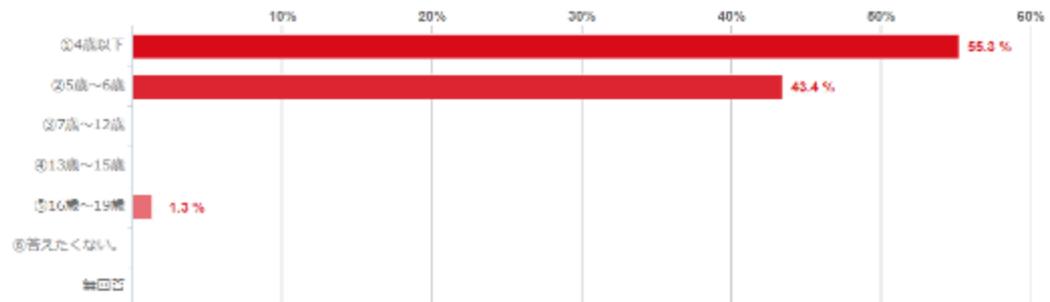
### Q13.

お子様の性別を教えてください。  
(回答数: 76 )



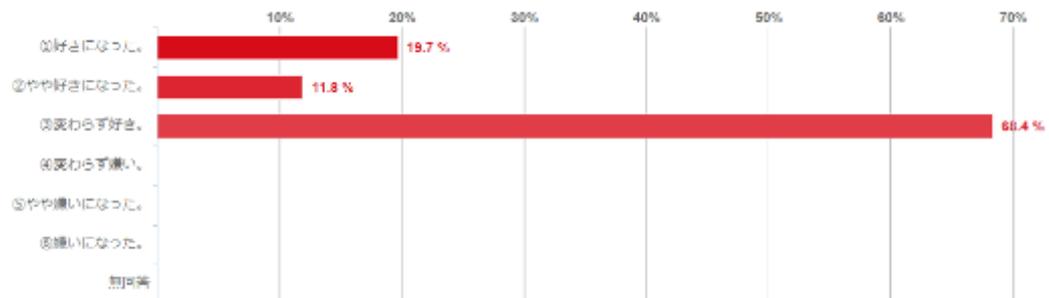
### Q14.

お子様の年齢を教えてください。  
(回答数: 76 )



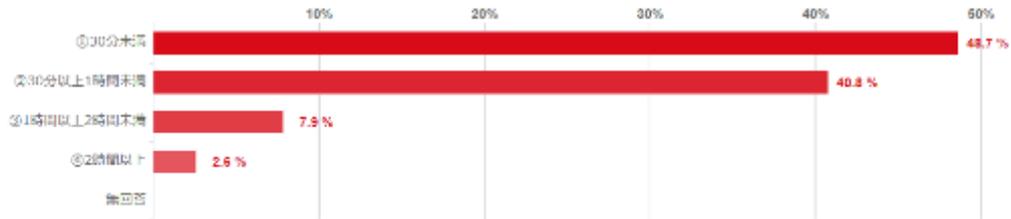
### Q15.

お子様は、この事業に参加して、運動遊びやスポーツをすることを好きになりましたか。  
(回答数: 76 )



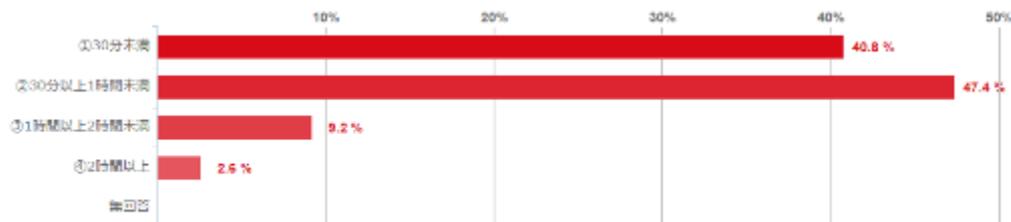
### Q16.

お子様は、この事業に参加する前、（学校、保育園等の体育の授業以外で）運動遊びやスポーツを1日に平均でどれくらい実施していましたが、  
（回答数: 76）



### Q17.

お子様は、この事業に参加した後、（学校、保育園等の体育の授業以外で）運動遊びやスポーツを1日に平均でどれくらい実施していますか、  
（回答数: 76）



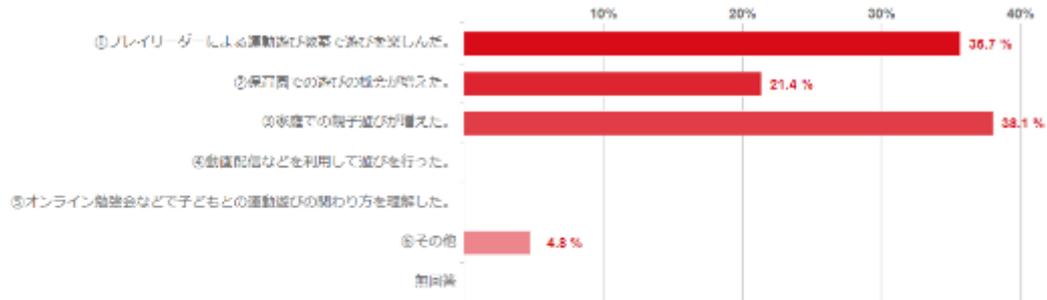
### Q18.

この事業に参加した後のお子様の運動遊び・スポーツ実施への意欲の変化について教えてください  
（まだ実施に至ってなくても構いませんので、運動遊び・スポーツ実施への意欲について教えてください。）。  
（回答数: 76）



### Q19.

Q-18で①と回答した方にお伺いします。  
運動遊びやスポーツをする時間を増やしたいと思った理由をお聞かせください。  
(回答数: 42)



### Q20.

本事業について、良かった点、改善してほしい点を記載ください。

回答は自由記載

#### ■感想

- ・(私は市のアウトメディア指導員をしていて、目への影響を考慮した外遊びを推奨していきたいと考えているから)色々地域の中で取り組みがあり、参加してみて楽しかったし、他の方の子育てや地域に対しての意見も聞けたので良かった。
- ・子供のみの参加で私は参加していないので答えにくいアンケートでした。ただ、帰ってきた後、楽しそうに教えてくれたので沢山運動したんだろうとは感じました。
- ・保育園での運動遊びだったのですが、帰ってから色々話してくれました。
- ・保育園の先生とは違った形で指導してもらった機会があったことは子供にとって良い経験だったと思います。
- ・1回では特に変化は感じられませんが、いい機会だと思います。
- ・子供が教えてもらった運動を家でもやるようになり、親子との会話や運動する時間が増えた。また、息子の運動する様子を見てこんなことができるようになったのか新たな発見ができた。
- ・保育園に預けているため平日に運動遊びは困難。習い事が難しいため、園で継続的に実施できるように市で支援をしてほしい。
- ・楽しかったみたいです。またあればいいと思いますが、保育園からは遠いので現実ではないかな。
- ・普段の保育園生活に加えて運動を教えてください、ありがとうございました。普段から体を動かすことが好きな子なので、今後も体を動かして行こうと思います。

・コロナ禍でイベントが減っている中での開催で、外に出て何かに参加するという機会がストレス発散になった。子供が楽しんでいること、出来たことをいいねと応援してもらえて、親子共に誇らしい気持ちになった。

・1度しか行ってないので効果がわからない。定期的に行ってみてもいいと思う。

・家では出来ない(駆け回る広さや散らかし暴れられる(笑)環境で)運動遊びが出来た。

・もう少し頻繁に来ていただけると嬉しいです。子どもがとても喜んでいました。ありがとうございました

・普段とは違う運動遊びが出来て良かったと思う。定期的にあると子どもの発達や成長に長期的に影響を与えることができていると思った。

・子どもがスポーツができる施設があると知ることができた

・保育園の活動で参加し、子どもはとても楽しんでいたと先生から伺いました。

・みんなでワイワイ楽しそうな映像を見て、親として嬉しかった。

#### ■要望

・もっと認知されるよう広告を工夫してほしい。学校の先生たちと連携が取れる仕組みも今後必要だと思った。

・定期的に行っていて欲しい

・1度しか行ってないので効果がわからない。定期的に行ってみてもいいと思う。

・保育園での事業だったので何をしているかわからなかったのも、それが見えると嬉しい。また、定期的に行っていただけるサービスであると、子供の成長がさらに上がると思うので、引き続き年間スケジュールを組めるようであれば行っていただきたい。

・一回ではなく定期的に行っていて欲しい！音楽などを流して流れ良く楽しく出来たら子供達ももっと喜ぶと思いました

・楽しかったそうなので、また保育園経由でもかまわないのでやってほしい。

・保育園での運動遊びは子どもたちも楽しかった！と言っていたのでぜひ続けていただきたいです

・もっと定期的に行っていてほしいと思いました。

た。

・子どもがとても楽しかったと言っているのも、是非また実施していただきたいです。